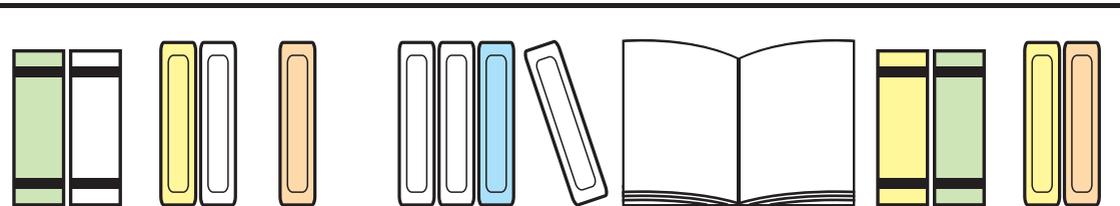
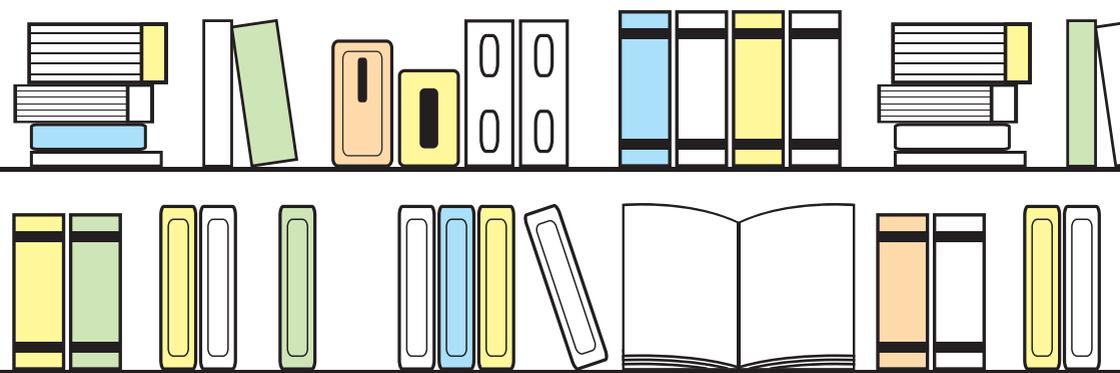


教養教育研究院の教員が新入生におすすめする100冊
2025



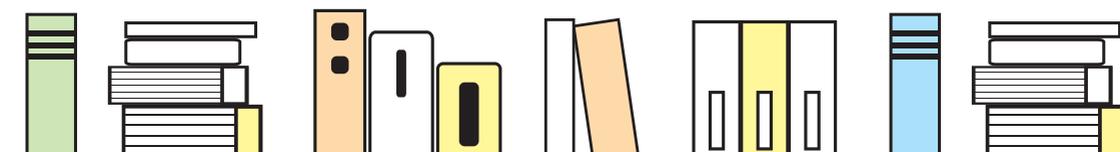
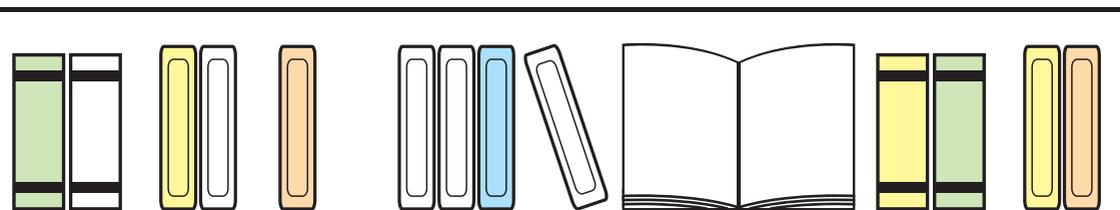


教養教育研究院の教員が新入生におすすめする100冊

東京理科大学には教養教育研究院という部局があり、4つのキャンパスで教養教育を担っています。この冊子は、教養教育研究院に所属する専任教員が、新入生の皆さんに対して、是非読んでいただきたいおすすめの本を紹介するものです。教員それぞれの専門に引きつけた本や、かなり難しい本もあれば、教員の価値観や趣味がわかる本、軽いタッチの本もあります。おすすめしている教員たちの個性にも思いを馳せながら、ぜひ1冊でも2冊でも、実際に読んでみていただけたら幸いです。

多くの情報がインターネットから手に入る時代に、「読書なんて何の意味があるんだろう」と思う人もいるかもしれません。「今の時代に大事なものは、インプットよりもアウトプットでは？」という声もきっと上がることでしょう。そして、実はそういう気持ちは現代に限ったことではなく、例えばフランスの思想家ジャン＝ジャック・ルソーは、「本を読んだって、自分がよくわかってないことについて話せるようになるだけだ」と、読書に否定的とも取れる言葉を残しています。

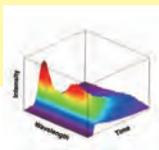
でも、それでも私たちは、新入生のみなさんに読書をおすすめしたいと思います。その向こうにはきっと、「新しい何か」が待っていると信じているからです。





書籍名 : ウソを見破る統計学：退屈させない統計入門
 著者名 : 神永正博
 出版社名：講談社
 出版年 : 2011年

大学生になるとこれまで以上に様々なデータを目にする機会が増えます。また、研究を通してデータを計測する機会にも恵まれます。この時のデータは、本来知りたいと思っている集団全体からランダムに選ばれたものであり、集団全体の特性を推測するためには統計学の知識が必要となります。本書では、まず、平均値や中央値、分散・標準偏差、正規分布といった統計学で必須となる基本的な知識を取り上げつつ、その背後に隠されている考え方に触れています。次に、統計学の代表的な手法の中から、比較的よく利用される「検定」と「回帰分析」を取り上げています。最後に、応用事項として社会や経済の問題を取り上げ、それらをクリアに考えたい時に、数学がベースである統計学がヒントになることに触れています。身近な話題を題材に、難解な数式をほとんど使わずシミュレーションと図解で説明されており、統計学の基本を押さえるのに最適な内容になっています。



所 属：神楽坂キャンパス教養部
 氏 名：植野 嘉文
 専 門：生物物理



書籍名 : 14歳からの生物学 学校では教えてくれない〈ヒト〉の科学
 著者名 : 松田良一・岡本哲治監訳 サリーヒル編
 出版社名：白水社
 出版年 : 2020年

専門関連科目である「生物学1」、「生物学2」を主に担当していますが、高校時代に生物学を履修してこなかった方も私の科目を履修してくれています。そのような方に私の講義に対する「しきい」を下げる意味でもご一読をおすすめします。

本書は、本学理数教育研究センター所属の松田良一先生が監訳されたオランダで13歳-14歳向け生物学教科書「Your Biology」を翻訳したもので「ヒトの生物学」をベースにおいており、生活習慣、感染症、性、薬物など身近な問題を取り上げられています。日本の高校の教科書には、これらの問題を取り上げているものは少ないのが現状です。高校時代に生物を履修してこなかった大学生が生物の基礎知識を身に付ける目的では特に、高校で生物を履修済の学生が身近な生活に関連する生物の正しい知識を身に付けるのに有用であると考えます。



所 属：神楽坂キャンパス教養部
 氏 名：太田 尚孝
 専 門：植物分子生物学



書籍名 : 夜と霧の隅で

著者名 : 北杜夫

出版社名 : 新潮社

出版年 : 1963年

第二次大戦末期のドイツを舞台とし、ある精神科病院の医師たちがナチスの安楽死政策に精一杯の抵抗を試みながら、最終的には敗れ去っていく状況を描いた北杜夫の初期代表作です。「アンナ」というユダヤ系ドイツ人を妻とする日本人「高島」が、精神疾患の治療と称して薬物を投与され、意識朦朧とするなか、「ユダヤ人とは誰のことか」をめぐって一人問答をしているところが読みどころ。ユダヤ・ジェノサイドに長年たずさわってきた私自身、恥ずかしながら、つい最近、この作品を知りました。日頃、授業でユダヤ・ジェノサイドの主題を採り上げると、「定義」に厳密な理科大の皆さんは、「そもそもユダヤ人とは誰のことですか?」と聞いてきます。これまでは、レオン・ポリアコフの『アーリア神話』の一読を勧めてきましたが、今後は、「その問いをナチ時代のドイツで日本人に突き詰めさせているフィクションがありますよ」と、この一著も併せて推薦したいと思う。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 菅野 賢治

専 門 : フランス語・ユダヤ研究



書籍名 : 言語を生み出す本能

著者名 : スティーブン・ピンカー

出版社名 : NHK 出版

出版年 : 1995年

「人間はなぜ言語を話せるのか?」この問題に答えてくれる世界的ベストセラーの名著。言語学・英語学の知識を全く持たない読者のために書かれ、興味深い具体例が豊富に詰め込まれています。言語の不思議を理解するのに最高の一冊です。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 菅野 悟

専 門 : 英語学



書籍名 : スポーツ遺伝子は勝者を決めるか? アスリートの科学

著者名 : エプスタイン, デヴィッド【著】/福典之【監修】/川又 政治【訳】

出版社名: 早川書房

出版年 : 2014 年

「スポーツの勝敗、もしくは運動能力を決めるものは、遺伝子か環境か?」。

スポーツに携わる我々以外でも興味深いテーマであるが、この問題にジャーナリストである著者が、学術論文による研究成果(エビデンス)を精査し、興味深い研究者に直接取材を行い、更には、独特の遺伝的素因を持った世界中のアスリート達にインタビューもしており、内容的には科学ノンフィクション的な書籍である。「遺伝子か環境か」という問題に対し、遺伝的形質か、練習時間の長さか、または、専門的な訓練か、といったいくつかのアプローチから、様々な実例を分析・解説しており、内容的にも面白く、新たな知見を得る意味でも読み応えのある書籍である。スポーツと科学に興味のある学生にはお勧めの1冊である。



所 属: 神楽坂キャンパス教養部

氏 名: 北林 保

専 門: スポーツ科学



書籍名 : NHK大河ドラマ・ガイド べらぼう〜篤重栄華乃夢噺〜 前編

著者名 : NHK 出版編

出版社名: NHK 出版

出版年 : 2025 年

2025年の大河ドラマ『べらぼう〜篤重栄華乃夢噺〜』は、「江戸のメディア王」として、江戸文化の形成と発展に大きく寄与した出版人(板元)・篤屋重三郎の生涯を中心に、当時の吉原や江戸市中、そして江戸城を取り巻く人びとのすがたを、史実を踏まえて鮮明に描いています。このガイドブックに当たる本書は、日本における科学技術の開拓を担った逸材ながらも悲劇的な最期を迎える平賀源内のほか、『解体新書』を世に送り出した書物問屋の須原屋市兵衛などにも詳しく触れています。家紋調査を筆頭に緻密に練られた美術や衣装、言葉遣い、さらには、都内のゆかりの地についての紹介記事もあり、篤屋重三郎の足跡を、体感的に楽しむことができます。

なお、東京国立博物館(平成館)では、特別展「篤屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児」を開催します(会期:2025年4月22日~6月15日)。東洲斎写楽筆「三代目大谷鬼次の江戸兵衛」をはじめ、彼が手掛けた浮世絵も多く出陳する予定です。国学者・本居宣長など、今後の登場人物を予想しながら、訪れてみましょう。



所 属: 神楽坂キャンパス教養部

氏 名: 小林 真美

専 門: 日本文学・日本語学



書籍名 : 文化系のためのヒップホップ入門 1・2・3

著者名 : 長谷川町蔵・大和田俊之

出版社名 : アルテスパブリッシング

出版年 : 2011年、2018年、2019年

映像・音楽ライターとアメリカ文学を研究する慶大教授とが、軽くゆるく、でも深く、ヒップホップという音楽文化について語り合う対談集です。歴史的な背景、アメリカ社会や音楽シーンの状況、技術的な説明などとともに多くの曲が紹介されていくので、1曲ずつ聴きながら読んでいただくと、楽しさがぐっと広がります(二人の溢れ出す知識は「入門」のレベルを超えていて、難しいところも多いかも知れませんが…)。僕の好きな Donnie Trumpet & the Social Experiment のアルバム "Surf" や、ドラマ "Atlanta" もとりあげられています。

そもそも、お金とドラッグと性行為のことばかり歌っている(ように思える)ヒップホップと、大学での学問・研究とは、かなり違うベクトルを持ったもののようにも思えます。でも、ヒップホップの世界を、その背後に存在する社会の切実な現実(あ、ここは韻を踏みました)と結びつけて捉えることができれば、それが音楽の一ジャンルにとどまるものではなく、多様な社会問題と学問分野とを繋ぐ接点にも思えてくるのではないのでしょうか。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 神野 潔

専 門 : 基礎法学



書籍名 : Brave New World

著者名 : Aldous Huxley

出版社名 : Penguin

出版年 : 2020年

Many people have read, or at least heard of George Orwell's book *1984*. Slightly less well known however, is Aldous Huxley's *Brave New World*. While both books are about a nightmarish dystopian future, there is a key difference. While *1984* is all about a society ruled by extreme control and power, *Brave New World* is a book about a society built upon scientific advancement, rationality, and pleasure. In the book, society is strictly ordered in a seemingly rational and logical way. Humans are artificially 'produced' through genetic manipulation and then ordered into higher or lower places in society. The members of the society are regularly medicated with a drug called 'soma' which keeps them happy and content. The story follows the journey of Bernard Marx, a man born into the 'alpha' top level of society. Later in the story he travels outside to other societies and begins to doubt and question the logic, rationality, and legitimacy of this own world. *Brave New World* is fantastic book to read, especially as many of the issues Huxley raised in this book have become important in our world now – mass-entertainment, drugs and medicine, and a society controlled not by brute force, but by scientific rationality and pleasure.



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : William Simpson

専 門 : Foreign language



書籍名：世界を変えた17の方程式

著者名：イアン・スチュアート（著）、Ian Stewart（著）、水谷 淳（翻訳）

出版社名：SBクリエイティブ

出版年：2013年

私たちの社会生活には、正確な地図の作成、GPSによる現在地確認、動画の視聴、木星の探査、安全なeコマースなどが当たり前のように組み込まれ、利用されていますが、これらの背景には重要な方程式が隠されています。

本書は、ピタゴラスの定理から始まり、フーリエ変換、相対論、シュレーディンガー方程式、情報理論等を経てブラック・ホールの方程式まで、人類の歴史が進む方向性に影響を与え、現代の社会生活の成立に欠かせない、極めて重要な17個の方程式を素材として、その式の意味や社会的意義などを、豊富なエピソードを交えてユーモラスに解説したものです。

著者は、ウォーリック大学の数学部教授職の傍ら、ポピュラーサイエンス書の著書としても著名であり、同じ著書による「数学を変えた14の偉大な問題」「自然界の秘められたデザイン」を併せて読めば、美しくも深遠なる数学の世界をいっそう堪能することができるでしょう。



所 属：神楽坂キャンパス教養部

氏 名：鈴木 公明

専 門：知的財産・イノベーション



書籍名：子どもとお金—おこづかいの文化発達心理学

著者名：高橋登・山本登志哉（共編）

出版社名：東京大学出版会

出版年：2016年

人は、子どものとき、親からお小遣いをもらったり、友だち同士おごりあったり、友だち同士お金を貸し借りしながら、お金の使い方を学んできました。

この文章に違和感を持つ人はいますか？ アジアの多くの人がこの文章に「そうだろう」と思うかもしれない。しかし、ひょっとして、あなたは「いや違う」と思うかもしれません。

「友だち同士のおごりあい」や「親子間のお小遣いのやりとり」など、身近な人とお金のやりとりは、（市場経済原理に基づくお金の往来とは異なり）文化によって実に多様であることが、「子どもとお金」プロジェクトにより明らかにされました。

この本には、プロジェクトメンバーである日本、中国、韓国、ベトナムの研究者たちが（実は私もメンバーの一人でした）、ハノイ、ソウル、吉林省や北京などに出向き、屋台や売店で買い物をする子どもたちや家庭訪問先の親子へのインタビューを通して、他国の子どものお金の使い方が自国のそれとは大きく違うことに気づき、驚き、言語化し、対話していく、そのプロセスが生き生きと記されています。

私たちが「当然」と思っていることの多くは、特定の文化の中で刷り込まれたものに過ぎません。そのことを理解した上で、異文化の人と出会い語り合ったりした時、世界はたくさん驚きと発見で満たされていることに気づくことができます。この本はそのような気づきをあなたにもたらすでしょう。



所 属：神楽坂キャンパス教養部

氏 名：竹尾 和子

専 門：教育臨床心理学



書籍名：ウイルスとは何か ～生物が無生物が、進化から捉える本当の姿～

著者名：長谷川政美

出版社名：中央公論新社

出版年：2023年

ウイルスと言えば悪いやつ。ウイルスと言えば病気を起こすやつ。そしてウイルスと言えば撲滅すべき敵。おそらくほぼすべての人間がそのように思っていることでしょう。それはもちろん当然です。だって「ウイルス」って「毒」って意味だし、そもそも人間に病気を起こすから見つかったんだし。でも本当にそうなのでしょうか。近年の研究で、人間に病気を起こす悪いやつだったはずのウイルスに、じつは別の側面があることが明らかになってきました。別の側面とはつまり、ウイルスはじつは「いいやつ」だったんじゃないか、ということです。実際、私たち生物の進化に、ウイルスは欠かせない存在だったことがわかってきましたし、今私たちがここにいるのは、じつはウイルスのおかげだったかもしれないのです。ウイルスの悪い部分だけでなく、いい部分にも焦点を当てた、コロナ禍を経験した今だからこそ、読みたい一冊です。



所 属：神楽坂キャンパス教養部

氏 名：武村 政春

専 門：水圏生命科学・生物教育



書籍名：美術館の舞台裏——魅せる展覧会を作るには

著者名：高橋明也

出版社名：筑摩書房

出版年：2015年

国内の美術館では、しばしば企画展が開催されています。展示作品を観る時、その豊かな色遣いや力強い筆致に引き込まれたり、人物の表情やどこか懐かしいような風景が印象に残ったりすることがありますね。作品自体と向き合い、その美しさやメッセージ性を享受することは、展覧会に足を運ぶ醍醐味です。

一方で、本書ではむしろ美術館の舞台裏、つまり学芸員が展覧会というひとつの「舞台」を創り上げるまでのプロセスに光が当てられています。展覧会を構想する上では、来館者の心が動くような魅力的な企画が目指されることは想像に難くありません。ただし、もし西洋美術を扱う場合には作品の多くを海外輸送する必要があり、学術的な新規性の提示も重要です。また継続的に展覧会を企画していくためには、動員数や収支バランスも無視できません。

こうした様々な要素のはざまに葛藤と挑戦をし続ける学芸員の仕事を知った時、これまでとはまた違った形で、興行きをもって展覧会を味わうことができるのではないのでしょうか。



所 属：神楽坂キャンパス教養部

氏 名：竹本 芽依

専 門：西洋美術史



書籍名 : エッセンシャル思考 最少の時間で成果を最大にする
 著者名 : グレグマキューン (著)、高橋 璃子 (翻訳)
 出版社名 : かんき出版
 出版年 : 2014 年

“Essential”というのは、「本当に大事なこと」という意味です。タイトルにもある「エッセンシャル思考」とは、「自分が大事にしたい“価値”を明確にし、“その価値を守れるかどうか”を行動の基準とすること」だと私は理解しています。この本を読む前の私は、家事・育児など家族のこと、授業・研究など仕事のこと、自分の趣味、など色々な種類のTODOが渦を巻いて襲ってきて、エネルギーの使い方が分からず疲弊していました。本を読んだからは、何か行動する前に「自分自身にとって」もしくは「自分の人生を自分らしく生きる上で」何が一番重要か、何を一番大切にしたいか、を再認識して状況を俯瞰し、整理するようにしています。受験対策っぽい言葉を使えば、「問題文をよく読む」です。大学に入学した今、大学でやりたいこと、卒業したらやりたいこと、本当は必要ないのに「やらなければならない」と思い込んでいること…など、皆さんのTODOリストは今までにないほどに膨れ上がっているかもしれません。この本を読むことで、自分は何に一番時間とエネルギーを割きたいのか、考えるきっかけになり、自分にとって価値のある力の使い方のヒントになれば嬉しいです。

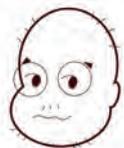


所 属 : 神楽坂キャンパス教養部
 氏 名 : 渡丸 嘉菜子
 専 門 : 言語学、音声学



書籍名 : 数でとらえる細胞生物学
 著者名 : 舟橋啓/ロン・ミロ
 出版社名 : 羊土社
 出版年 : 2020 年

「数でとらえる細胞生物学」という本は、ただの教科書とは異なっています。この本の興味深いところは、生物学の複雑な概念を、わかりやすい数字と具体的な例で解説している点です。たとえば、私たちの体の細胞でどれだけATPが生成されているか、あるいは一つの細胞にどれだけmRNAが存在するのかといった質問に、シンプルだけど興味深い答えを提供してくれます。この本は、単に情報を羅列するのではなく、読者が自分で行える「手軽な計算」を通じて、生物学のデータを実感できるように導いてくれます。それにより、細胞のサイズや分子の濃度、反応の速度など、生きている世界の基本的な要素を、より深く理解できるようになります。この本を読み進めるうちに、生物学の数字がどのように私たちの生活や自然界に関連しているのかを発見できるでしょう。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部
 氏 名 : 鞠 達也
 専 門 : 光合成科学



書籍名 : 民族衣装を着なかつたアイヌ 北の女たちから伝えられたこと
著者名 : 瀧口夕美
出版社名 : 編集グループ SURE
出版年 : 2013 年

東京で編集者として暮らす筆者は、アイヌの母と和人の父を持ち、両親が営む北海道阿寒湖畔の土産物屋を手伝う少女時代を過ごした。普段は洋服を着て暮らしながら、店先に立つときは民族衣装を着る違和感。悪意なく投げかけられる「あなたはアイヌ人なの?」「日本語が上手ね」「もう純粋なアイヌはいないんだよね?」という言葉への疑問。自分は言語も文化も手放しながら、金のために民族性を切り売りする「偽物」のアイヌなのではないかという問い。母たちへのインタビューを通じて、筆者は、自らのアイデンティティとともに「アイヌとは何か」「日本人とは何か」「民族とは何か」という問題に向かい合う。

本書を読むまで、わたしは、「先住民」とは、「民族衣装を着用し、伝統的な道具を用いて生活する人たち」「昔ながらの暮らしを誇りをもって維持する人たち」というイメージを漠然と抱き、「尊重」してきた。本書を通じ、このイメージが、「変化を嫌い、原始的な暮らしを続ける人々」という偏見であること、その偏見に基づく「尊重」とは差別に他ならないことに気づかされた。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部
氏 名 : 中丸 禎子
専 門 : ドイツ文学・北欧文学



書籍名 : 伝奇集
著者名 : J. L. ボルヘス (鼓 直 訳)
出版社名 : 岩波書店
出版年 : 1993 年

この本は、1899年にアルゼンチンのブエノスアイレスに生まれた作家、ホルヘ・ルイス・ボルヘスの短編小説集です。短い作品内で多くの謎が提示されます。読者は事実と虚構、現実世界と象徴的な世界の狭間を行き来しながら、なんとも言い難い不思議な心地を味わうことになるでしょう。それぞれの作品に共通する主題はあるのか、作品間の繋がりはあるのかなど考えながら読んでいくと、数えることなど不可能な量の情報の中を生きる自分自身について、思ってもいなかったかたちで考えることになるかもしれません。今現在産み出されている創作物にも多く影響を与えていることから、みなさんの親しんでいる文学作品、映像作品、漫画作品など同様の主題やモチーフを発見することもあると思います。2023年には岩波文庫から同作者の短編集『シェイクスピアの記憶』も出版されているので、『伝奇集』が気に入った方はそちらの作品も手にとってみてください。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部
氏 名 : 西野 方子
専 門 : 英文学



書籍名 : チャリング・クロス街 84 番地

著者名 : ヘレン・ハンフ 編著 江藤淳 訳

出版社名 : 中央公論新社

出版年 : 2021 年

「今すぐにもほしい書籍のリストを同封いたします。」ニューヨークに住む脚本家ヘレン・ハンフがロンドンの古書店に最初の注文の手紙を送ったのは、1949年のことでした。古書店員のフランクは、ヘレンの要望になかった本を見つけて手紙を添えて送ります。その後、約 20 年間続いた書物をめぐる 2 人の手紙のやり取りをまとめたのが本書です。

二人の往復書簡は、古書には人を繋げる力があるということを教えてくれます。やり取りと古書の購入とを繰り返す中で、フランクの選書に全幅の信頼を寄せるようになったヘレンは、やがて「なにかよい本」を送って欲しいと漠然とした注文をするようになります。しかし、ヘレンの趣味を熟知したフランクは、その要望に見事に応え、時には何年もかけて彼女の注文の品を探し出していきます。

私は何百年も昔の古書を使って文学の研究をしています。古書には、異なる時代に生きる人々をも繋ぐ力もあるように思います。「本の中じゅうあちこちに鉛筆で薄く記しをつけて、だれか後世の愛書家のために、いちばんよくかけているくだりを教えてあげることにしましょう。」というヘレンの言葉は、そのことを象徴的に表しています。時間や距離を超えて心の繋がりを生み出す古書の世界を、ぜひ少し覗いてみてください。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 張替 涼子

専 門 : 英文学・書物学



書籍名 : 楽しく読むだけでアタマがキレッキレになる 奇跡の経済教室【大論争編】

著者名 : 中野剛志

出版社名 : ベストセラーズ

出版年 : 2022 年

私が一緒に政策策定の仕事をしたことのある筆者（中野剛志氏）は、経済産業省の現役の官僚でありながら、現場の豊富な経験を踏まえ、多くの書籍を通じ、日本の在るべき姿を提唱しています。

国の行政の最前線で活躍しながら提唱する斬新な切り口は、多くが4年後に社会人デビューを控えた新入生の皆さんにとって、自己や日本の置かれた現実を直視し、急激な変化にみまわれる現代社会において将来を切り開く一助となるでしょう。

しかしながら、私自身、すべての論調に首肯している訳ではありません。それでも、皆さんにおすすめる理由は、たとえ納得できなくても、そこに至るまでの検討の視点やプロセスが、我々にとって大変に為になるからです。

今回、中野氏の多くの書籍の中から、おすすめる書籍のテーマは日本経済です。経済の知見にとどまらず、「考える力」の使い方を知ることができます。理系や経営系の皆さんは、是非、批判的思考を持ちつつ、楽しみに手に取ってみてください。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 平塚 三好

専 門 : 知的財産・人工知能



書籍名 : チェーホフ全集 全 12 巻セット

著者名 : アントン・チェーホフ; 松下 裕 (翻訳)

出版社名 : 筑摩書房

出版年 : 1987 年~

ロシアの作家チェーホフは世界でよく知られている短編の名人です。短編なので、読みやすいのがありますが、深さがわかりにくい、という面もあります。チェーホフは類稀なアイロニーで人間の精神世界を繊細に解き明かし、最も短い短編にさえ、そこには人間の内的宇宙が立ち現れます。

彼は、社会と自分個人をとりまく絶望的な状況にもかかわらず、高い芸術性を持った詩情にあふれた作品を書き続けることができた天才です。普通は誰も気づかない、弱い者の「傷つけられた心」というものを、実によく描いていて、それが読者の感動を誘うのです。

例えば、「カシタンカ」は犬の目を通して、人間世界が活写されていますが、単に風刺しているだけではなく、人間に共通の悩み（貧困、病気、死など）が一筆で見事に描かれていて、その詩心の豊かさに驚かされます。チェーホフの影響を受けた日本の作家は多いと思います（井伏鱒二など）。

人はしばしば、他者と向き合う中で己を知るものです。チェーホフ作品を読み、その登場人物の心と向き合うことは、きっと他者や己の心を知る助けとなるでしょう。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : Anna Bugaeva

専 門 : 言語学



書籍名 : 多様性の科学: 画一的で凋落する組織、複数の視点で問題を解決する組織

著者名 : マシュー・サイド著; トランネット翻訳

出版社名 : ディスカヴァー・トゥエンティワン

出版年 : 2021 年

大学は新たな知識と技術を創り出す力を養う場です。では、どうすれば創造力は鍛えられるのでしょうか。この本はそのヒントを示しています。「多様性を活かす能力」です。

社会は多様性に満ちています。私と皆さんの視点は異なり、皆さん同士も違います。しかし、その多様性を活かすことに成功している集団はごく一部です。この本は、なぜ多様性を活かすことが失敗の未然防止やイノベーションに重要なのか、その重要性にもかかわらず多様性を活かすことができない集団が多いのかを、様々な例を交えて解説しています。

この本を読むことで、皆さんはきっと大学で画一的な答えを導き出す計算機になることが求められていないことにお気づきになるはずです。毎年、皆さんから投げかけられる声に私は創造性を感じ、新しい視点を知ります。私も皆さんに新しい視点を投げかけたいと思います。お互いに多様性を提供し合い、一緒に科学を一步前に進めましょう。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 松本 朋子

専 門 : 政治学



書籍名：ドキュメント 宇宙飛行士選抜試験

著者名：大鐘良一、小原健右

出版社名：光文社

出版年：2010年

JAXA（宇宙航空研究開発機構）が初めて宇宙飛行士の選抜試験の様態をメディアに公開し、募集開始から最終選考までの一部始終を取材記者たちが描いた本です。宇宙飛行士の試験は採用試験の中で最も難しいと言われていています。ストレスに耐える力、リーダーシップとフォローシップ、危機を乗り越える心といった資質が宇宙飛行士には必要であり、それをどんな試験の内容でどのように評価していくのか非常に興味深いと感じました。日常生活においてこれらの資質を高いレベルで要求されることはありませんが、一定程度の力は身につけていたものです。

どんな人が宇宙飛行士に採用されるのか、これから先に採用試験を控えている方にとっては力になり、とても参考になる内容だと思います。私のおススメの一冊です。



所属：神楽坂キャンパス教養部

氏名：村上 貴聡

専門：スポーツ心理学



書籍名：問いかける技術：確かな人間関係と優れた組織をつくる

著者名：エドガー・H・シャイン（金井壽宏 監訳／原賀真紀子 訳）

出版社名：英治出版

出版年：2014年

新たに出会う人々や物事との「関係づくり」がいまひとつ苦手、という方はいらっしゃいませんか。もしそうでしたら、こちらの本をおすすめします。

大学では新たな出会いがみなさんを待ち構えています。新たな人々、学問、テーマ、生きがいと出会い、未永く良好な関係を築いていきたいものですね。

本書では、米国の著名な心理学者が身近な例をたくさん挙げながら、良い関係を築き発展させる方法を平易に解説しています。その方法とは、謙虚に問いかけること（humble inquiry）です。本書で学べるのは、問いかけの分類、謙虚に問いかけることの機能、問いかける際の米国や本邦での暗黙のルール、謙虚な問いかけを実践するための具体的な方法、などです。

いま、新たな人々や物事がみなさんを待ち構えています。思いがけない出会いを大事にするため、本書を読んで良い関係を築くためのスキルを意識的に学修しておきましょう。



所属：神楽坂キャンパス教養部

氏名：森田 泰介

専門：認知心理学



書籍名 : 歴史とは何か 新版

著者名 : E. H. カー (近藤和彦訳)

出版社名 : 岩波書店

出版年 : 2022 年

過去を見つめることには、いかなる意味があるのか。それは、「いま」を生きている人々に、何をもちたらずのか。この問いに正面から向き合った本書は、冷戦真っ只中の1961年に出版された。そこから多くの読者を獲得し、21世紀に入ってから20年以上を経ても、読み継がれている。もはや「古典」としての地位を獲得したと言えるが、それは本書が、「時間」という名の批判に耐え抜いてきたことを意味する。先行きが見えなくなり、漠然とした不安が社会を覆うとき、人は、歩むべき道を求めて、過去の世界に問いかける。こうした傾向は、現代の日本において、いっそう顕著であるが、新入生諸君には、是非とも本書を手に取り、知の巨人である著者が「過去への問いかけ」に関して紡いだ名言の数々と、格闘してほしい。一度で全容を捉えることは難しく、何度も読み込む必要があろう。だが、読解を積み重ねることで、諸君の知性は鍛えられ、これまでにない輝きを放つはずだ。そして、「いま」という時代を生き抜くために必要な行動、豊かな未来を創るためになし得る選択について、より確かな判断ができるようになるだろう。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 山中 聡

専 門 : ヨーロッパ近代史



書籍名 : 英語教育幻想

著者名 : 久保田竜子

出版社名 : 筑摩書房

出版年 : 2018 年

この本、私にとっては、とてもホラーな内容でした (理由は後述)。

筆者の久保田先生は、海外の大学で30年以上にわたり教鞭をとられている第一線の言語教育学者です。その先生が本書の中で、「グローバル人材には英語は必須」という日本人がなぜか共有している発想が国際的に見たら偏った「幻想」であることを、学者らしくエビデンスに基づきながら論証していきます。しかも、世界を股にかけて活躍の先生が仰っているだけに、めちゃくちゃ説得力があります。

読後、思っきり考えさせられました。どうして皆が同じ幻想 (目的) に取り憑かれているのだろう。本来は一人一人違っていいはずなのに。結局、選別されるために学ばされていることへの目途らしんじゃないか (ここにきて背筋がゾツとしたわけです)。でも今からでも遅くない、いやむしろこれからが大事。自分にとって、なぜ英語が必要なのか、どのような英語が必要なのか、考えながら学んでいきたい。そう、ここからが本当の英語学習の始まりです。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 石崎 貴士

専 門 : 外国語教育



青空文庫

書籍名 :

著者名 :

日本の名作小説や詩歌、古典など、著作権が切れた作品を誰でも無料で読めるようにしたオンライン図書館。ボランティアの方々の支援によりデジタル化された大切な文化遺産に、時代や場所を問わずアクセスできます。現在 15,000 点以上の作品が公開されており、スマートフォンやタブレットがあれば、誰でも気軽に読書を楽しめます。また、絶版になった作品や書店で手に入りにくい名作も多く含まれているため、世代を超えて受け継がれる貴重な文学作品として、多くの人々に親しまれています。

夏目漱石や芥川龍之介など、近代文学を代表する作家の作品に気軽に触れられるだけでなく、環境にも優しいのも魅力の一つです。読書が苦手な人でも、短編や詩などから始めれば、ちょっとした隙間時間を楽しむことができます。そうした柔軟な読書スタイルをサポートしてくれる青空文庫は、まさに現代ならではの「読む自由」を体現する存在といえるでしょう。ぜひ、サイトを訪れて、時代を超えて愛される作品の中から、自分だけのお気に入りを見つけてみてください。

URL (青空文庫) : <https://www.aozora.gr.jp/>

URL (本の未来基金) : <https://honnomirai.net/>



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 宮添 輝美

専 門 : 応用言語学 /ICALL

コラム：本を読み、旅に出て、そしてまた本を読もう①

この冊子では多くの「おすすめ」の本をご紹介しますが、この世界には（当たり前ですが）もっともっとたくさんの、魅力的な本が溢れています。それらの本とさらに出会いたいと思う方は、ぜひ図書館に行ってみてください！理科大の各キャンパスにある図書館はもちろんのこと、気軽に利用できる地元の公立図書館なども、皆さんの視野と可能性を広げてくれる「無限の世界」です。

ここでは、国内外の魅力的な図書館をいくつかご紹介します。ぜひ、この冊子をきっかけに何冊かの本を読んでみてください、夏休みや春休みにはどこかにふらっと旅に出て、そしてその旅先の図書館でまた素敵な本と出会っていただけたら嬉しいです！



バチカン図書館 (Bibliotheca Apostolica Vaticana) 宮殿の中の美術館! ? 歴史的文化遺産を守る世界最古の図書館の一つ

アクセス ローマから地下鉄で5分ほど、サン・ピエトロ駅で下車

1448年にローマ教皇ニコラウス5世が人文学研究を進めるための公共図書館として計画し、教皇シクストゥス4世がその遺志をついで設立した図書館です。最古の聖書写本として知られるバチカン写本など歴史的に重要な書物を多く所蔵しています。もともと宮殿であった館内は多くの美術品で彩られていて、図書館と美術館が融合して存在しています。2021年には常設のアートギャラリーが誕生し、一般見学が可能となりました。



石川県立図書館 「百万石ビブリオバウム」ってなんだ! ?

アクセス JR金沢駅から北鉄バスを利用し、石川県立図書館で下車

2022年7月にオープンしたばかりの図書館で、通称は「百万石ビブリオバウム」。吹き抜ける美しい閲覧エリアは、まるで円形の劇場のようで開放感抜群です！この閲覧エリアでは、従来の図書分類法ではなく、「世界に飛び出す」・「仕事を考える」・「本の歴史を巡る」など興味深い12のテーマで、書籍が整理されています。(21ページに続く)



書籍名：漱石書簡集

著者名：夏目漱石

出版社名：岩波書店

出版年：1990年

夏目漱石の手紙には、悩める若者たちに向けて書かれたものも多く、漱石による「人生相談」の書としても読めます。

明治39年（1906年）7月24日の、弟子の学生中川芳太郎宛てた手紙を紹介します。大学を卒業して、「一日のうちに世の中が恐ろしくなつたからこれからよほど注意を周密に」したいと書く中川に対して漱石は、「自己の智力にて出来得る限り考へ、自己の感情にて出来得る限り感じ、しかして相手と自己とに不都合の破綻なきやうにするを上等といひ、ただ人を見て泥棒の如く疑い何でもコソコソに先を制するやうな事を得意にする、これを下等の周密といふ」と述べ、「世の中」のつきあい方において、もっと自分に自信を持つようと励まします。

百年以上前のやりとりですが、「社会人」になる前の若者の不安は今でも変わらないと思います。世の中の価値観に自己を埋没させて生きざることを求める無言の「圧」がむしろ強まっている現代において、「余は君にもつと大胆なれと勤む。世の中を恐るなとすすむ」という漱石の温かい激励の言葉は、ますます輝きを増しているようです。



所 属：野田キャンパス教養部

氏 名：浅井 英樹

専 門：ドイツ文学



書籍名：差別の哲学入門（シリーズ・思考の道先案内1）

著者名：池田喬・堀田義太郎

出版社名：アルパカ

出版年：2021年

カテゴリC科目の「心理学と社会」で、ジェンダーや障害科学の話をしたら、学生さんからはこんな反応がありました。「性役割は男女の身体的違いに基づいた合理的な思想だと思う」「差別じゃなくて区別です」「友達が障害者でも、友達は友達だから、障害があることは考慮しないで接する」…。差別だなんて騒ぎ立てずに、区別、個性、あるいは個人の外側にある属性としてみせれば問題ないのでしょうか？一方で、人種差別のような歴史があるものはどうやってなくせるのでしょうか？いや、そもそも差別があるとかないとか、誰がどう決めてるの…など大人になる前に一度考えてみませんか。この本は平易な言葉で対話するように書かれていて読みやすく、そのうえ、些細な問題意識も取りこぼさず説明してくれている、めちゃくちゃいい本です！※注 野田キャンパス教養部の堀田先生のご著書です。関心をもったらぜひ堀田先生の講義も受講してみよう！



所 属：野田キャンパス教養部

氏 名：市川 寛子

専 門：実験心理学



書籍名：群島の文明と大陸の文明

著者名：小倉紀蔵

出版社名：PHP 研究所

出版年：2020年

著者は中国やアメリカが代表するような大陸文明と対立する概念として、独特な生命感覚をもつ群島文明という視点を提示し、大陸文明との異なる視点と掛け合わせて、日本社会の歴史的存在を明らかにした。

この書では、群島文明とは、単に地理的な概念だけではなく、文明論的・世界観的な概念として捉えられています。文明論的視点からみれば、日本には群島文明ばかりがあったのではなく、海洋性を前面に出すと大陸文明化をし、海洋性から離脱すると群島文明化したとされます。普遍主義的な統合的統治にうまく機能する律令制度を大陸文明から取り入れたことは、大陸文明との強い接触を持つと劇的に大陸文明化をしてきた歴史の一面であります。一方、群島文明は、大陸文明的な理念、普遍性、絶対性などに対する根源的な不信感をも抱えてきました。大陸の文明を移入しながら、風土や文化にあわせて再構成するのが群島文明であるということでもあります。大陸の文明の違いを認識することにより、改めて日本の特殊性を知ることができる、そのための一冊であります。



所 属：野田キャンパス教養部

氏 名：汪 義翔

専 門：比較文学、中国古代文明研究



書籍名：アルケミスト 夢を旅した少年

著者名：パウロ・コエーリョ 翻訳：山川紘矢、山川亜希子

出版社名：KADOKAWA

出版年：1997年

人生の転機にあるときに読むと勇気づけられるかもしれませんし、単純に物語の世界に浸りきって旅を楽しむのも良いと思います。世界中でとてもよく知られていて、たくさんの方が所感をあちこちで発信している作品です。なので、私は今もう一度読み返してみ、気に入っている箇所をいくつか抜粋します。

「彼は、勇気をふりしぼって、自分は神父にはなりたくない、自分は旅がしたいのです、と父親に言った。…少年は父親の目の中に、自分も世界を旅したいという望みがあるのを見た。それは、何十年もの間、飲み水と食べるものと、每晚眠るための一軒の家を確保するために深くしまひ込まれていたものの、今もまだ捨てきれずにいるのみだった。」

『幸福の秘密とは、世界のすべてのすばらしさを味わい、しかもスプーンの油を忘れないことだよ。』

『もし、わしがおまえに話していたら、おまえはピラミッドを見なかったことだろう。ピラミッドは美しくなかったかね?』



所 属：野田キャンパス教養部

氏 名：斎藤 明宏

専 門：外国語教育



書籍名 : FACTFULNESS(ファクトフルネス)10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣
著者名 : ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド
出版社名 : 日経 BP
出版年 : 2019年

『ファクトフルネス』は、世界有数の大富豪にして大変な読書家としても知られているビル・ゲイツ氏(マイクロソフト社創業者)がアメリカの大学卒業生を対象に無償配布したことで知られる世界的ベストセラーの本です。

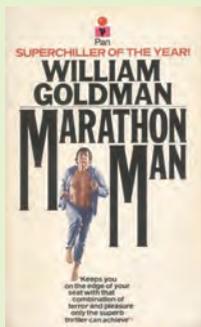
ゲイツ氏曰く、「世界が良くなっていると思わない人は悲惨な出来事ばかりを見て自分には何もできないと考える。しかし、どれだけ前進できるのか理解している人は悪い状況を見たとしても“どうすれば改善できるか?”と考えるようになるだろう」(英タイム誌より)

著者のハンス・ロスリングらは、統計データと分かりやすい解説を織り交ぜて、貧困・健康・教育分野における過去1世紀の世界の劇的な進歩を示し、私たちの先入観、優先順位の誤用(本末転倒な意思決定)、悲観主義に陥りやすい傾向などを軽快に粉碎してくれます。

情報が氾濫し錯綜する現代社会において、本書は適切に情報を管理・把握し、世界を正しく理解するための思考の枠組みを示すことで、読者にさまざまな難題に立ち向かうための知恵と勇気を授けてくれます。必要以上の悲観に陥らず、明るい未来への道筋を示してくれるという意味において、「閉塞感のある・生きづらい・失われた30年」時代を生きる私たち全員の必読の書として本書をおすすめします。



所 属 : 野田キャンパス教養部
氏 名 : 坂本 徳仁
専 門 : 厚生経済学、社会的選択理論、社会保障の経済分析、政治哲学



書籍名 : Marathon Man
著者名 : William Goldman
出版社名 : Pan
出版年 : 1976年

Have you ever wondered what people are thinking about as they run? It could be they are imagining themselves to be a famous Olympian Gold Medal Winner. That is what PhD student Thomas “Babe” Levy is thinking as he is running around the lake in Central Park, New York City in 1976. Babe meets and begins to date Elsa Opel, a foreign exchange student. While out for a walk in Central Park late one night, Babe and Elsa are mugged, the unusual aspect of it being that their attackers were men in suits. What Babe does not yet know is that his brother is a US government special agent who is mixed up in hunting for illegal diamonds taken out of Europe during World War 2. Somehow, Babe becomes involved in the mysterious events. Not knowing anything about what's going on, Babe has to decide whom he can and cannot trust while he works to find out what's going on. Putting his marathon training to use, Babe uses his brain and eventually he finds out that he is in a crazy situation and needs to fight for his life. There are exciting scenes in this short book, such as James-Bond-style car chases and fascinating plot twists.



所 属 : 野田キャンパス教養部
氏 名 : Stephen Jennings
専 門 : 英語教授法



書籍名：弱者に仕掛けた戦争——アメリカ優生学運動の歴史

著者名：エドウィン・ブラック（貴堂嘉之監訳、西川美樹訳）

出版社名：人文書院

出版年：2022年

「どんな本のページにも、そこに潜む声がある。だがとりわけこの本は、この世に生れなかった者、その問かけが誰の耳にも届かなかった者——この世に存在することのなかった者たちの声を代弁している。」

分厚いので後回しにしてしまっていたのですが、半年ほど前、電車の中でこの冒頭を読んだ時、何よりも優先して読むべきだと思いました。この本は、20世紀初頭から戦後に至るアメリカ優生学運動の歴史を詳細に辿った本です。著者は次のように書いています。

「今一度私は問いたい。進歩的な社会でなぜこのようなことが起きたのか。集めた証拠資料の何千枚ものページに目を通し、二年近くも昼夜この問いに思いを巡らせたすえ、それはただ一つの言葉に帰結するのだと私は気がついた。それは、エリートたちの自己正当化や自己証明以上のものであり、権力や影響力が偏見と手を結ぶこと以上に、私たちの誰をも墮落させるもの——すなわち傲慢であった。」

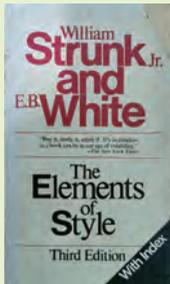
「Qテスト」の暗く歪んだ歴史など本書から学べることは非常に多いですが、何よりも、人間の価値とは何なのかということを強く考えさせられます。



所 属：野田キャンパス教養部

氏 名：堀田 義太郎

専 門：哲学・倫理学



書籍名：The Elements of Style

著者名：William Strunk Jr. and E.B.White

出版社名：The MacMillan Company

出版年：1959年

For over half a century now, this slender book has served as guide to economical and proper use of English writing in university and professional life. It was a required book when I was a student in the 1980s. I remember the first time I held my own copy. I was intrigued by how thin it was, but a little doubtful about how it might be of any use. I later found having the rules of good writing distilled into such a small volume was very helpful in my writing. The book includes rules of usage, lists of words that are often used in error. Its explanation of the rules for punctuation is of particular value. It is no exaggeration to state that this book demystified the *dos's-and-don'ts* of college writing for several generations. It served me well as a student and later in my work as a teacher of writing. *The Elements of Style* is considered a highly influential guide to English usage. As recently as 2011, *The Elements of Style*, known affectionately as *Strunk and White*, was placed among the 100 most important non-fiction books of the 20th Century. It continues to be an important resource for beginning writers today. And yes, that is the same E.B. White who wrote the children's book, "Charlotte's Web".



所 属：野田キャンパス教養部

氏 名：ガン デイヴィッド アレン

専 門：English



書籍名 : リア王

著者名 : William Shakespeare (著)、福田恆存 (翻訳)

出版社名 : 新潮社

出版年 : 1967 年

私が持っているのは 81 刷改版であるが、注意を要する箇所がある。
第 1 幕 第 4 場 46 ページ目

道化 「…おっさん、卵を一つおくれ、金貨を二つ遣るぜ。」

リア 「その二つの金貨とやらはどうして作る？」

道化 「ふむ、もらった卵を真二つに割って、中身を食ってしまえば、卵の金冠が二つ出来るだろうが。…」

道化の一つ目の台詞とリアの台詞に「金貨」とあるが、これは道化の二つ目の台詞にあるように、これは「金冠」が正しいものと考えられる。King Lear (Dover Thrift Editions) において該当箇所を見てみると、

Fool. 'Give me an egg, nuncle, and I'll give thee two crowns.'

King Lear. 'What two crowns shall they be?'

Fool. 'Why, after I have cut the egg in the middle and eat up the meat, the two crowns of the egg. …'

とあるため、「金冠」または「王冠」と訳すべきであろう。この例からわかるように、教科書や論文の主張を鵜呑みにせず、自ら検証することが重要である。



所 属 : 野田キャンパス教養部

氏 名 : 中村 隆

専 門 : 数論



書籍名 : 超一流になるのは才能か努力か？

著者名 : アンダー・エリクソン、ロバート・プール、土方奈美 (訳)

出版社名 : 文藝春秋

出版年 : 2016 年

大学に合格して、皆さんは「もうやりきった！」と思っているのではないでしょうが？いえいえ、大学こそが皆さんの持っているものを最大限に伸ばしていく場所です。ここからが勝負です。しかし、闇雲に“ガンバル”ことではその勝負に勝てません。効果的な努力の方法があるんです。それがこの本が紹介する「限界的練習」です。学習理論を研究する心理学者の知識と科学的エビデンスに基づいた内容を、サイエンスライターが人々を惹きつける文章にした本書。「努力しても結局成功できなかった。努力なんて無駄だ」と思っている方に特にオススメです。努力をすることが無駄なのではなく、効果的な努力と効果的でない努力があるんです。もちろんある程度「才能」は影響します。しかし、どんな才能も効果的な努力なしには花開きません。ぜひ効果的な努力をして皆さんの持っているものを一緒に伸ばしていきましょう。英語に少し自信のある方は英語版もオススメです (Peak: Secrets from the new science of expertise)



所 属 : 野田キャンパス教養部

氏 名 : 半沢 蛭子

専 門 : 外国語教育、応用言語学



書籍名：属国民主主義論—この支配からいつ卒業できるのか

著者名：内田樹、白井聡

出版社名：朝日文庫

出版年：2022年

「属国民主主義」だなんてぎょっとするタイトルでしょ？現代日本—その政治・社会・教育・文化—を動かしているのがどんな原理なのか、論じている対談本です。2016年に出た本に新たに1章を加えた増補版として出版された2022年版が本書です。目次には「加速する属国化」、「劣化する日本」、「コスパという病」という気になる言葉が躍っていますが、決していたずらに不安を煽ったり、自虐的に現状を嘆くだけの本ではありません。「自分たちの運命を自分たちで自己決定できない」ところへ追いつめられつつある日本（人）が、今後どう生き抜いていったらいいの考えるきっかけやヒントを提供してくれる、鋭い洞察に富む本です。私見では、「自分たちの運命を自分たちで自己決定」できる自由や力を与えたり、援けてくれるものこそが「教養」ですので、本書を現実的かつ実践的な教養（リベラル・アーツ）的考察の好例としてお薦めします。



所属：野田キャンパス教養部

氏名：松本 靖彦

専門：英米文学、視覚文化



書籍名：1日1話、読めば心が熱くなる 365人の仕事の教科書

著者名：藤尾秀昭（監修）

出版社名：致知出版社

出版年：2020年

本書は人間学を学ぶ月刊誌「致知」を再編成したもので、内容は掲載当時のものとなっています。その時代を仕事にも人生にも真剣に取り組んだ一流プロ365名のインタビューや対談記事が掲載されています。毎日読みたくなる逸話が集結しており、一人ひとりの逸話の内容が深く、凝縮されています。その時代の偉人が難局に立たされた時あるいはさらなる改善を追求した時に感じたこと、考えたこと、分析したこと、乗り越える術を身につけた経緯を深く表現している内容となっており、読書中に心が熱くなり、読書後はとても充実した気持ちにさえしてくれます。読書のタイミングはそれぞれですが、何かに取り組む前に読むと、頑張る勇気と楽しむ気持ちをもたらえると思います。また、多くの著名人の記事からさらなる発見や興味が湧いてきますので、本書から多くのことを学び、さらに探究心が強くなると思います。自己啓発力を高めたい時、消極的な考えに陥りなかなか気持ちが前に向かない時などに是非読んでみてください。



所属：野田キャンパス教養部

氏名：向本 敬洋

専門：トレーニング科学、運動生理学



書籍名 : The Frog and Toad Collection (3冊セット)

著者名 : Arnold Lobel

出版社名 : HarperCollins

出版年 : 2004年

性格の異なる2匹のカエル。マイペースでものぐさながまくん (Toad) と、明るくてしっかりもののかえるくん (Frog) の可笑しくて、切ない、愛情あふれる生活を、素朴な文章と可愛らしい絵で綴った絵本です。各冊とも短編が5話、一話は400語程度の平易な英文で書かれており、英語が得意な人も、そうでない人も、数分で楽しく読み終えることができます。

英語が好きな人はもちろん、受験勉強を通して英文を読むことに疲れてしまった人、英語に苦手意識をもってしまった人、これまで学習以外で英語を使ったり、使うことを楽しんだりしたことがない人にお勧めします。絵本の文章は易しいだけでなく、味わい深く、英語らしい表現も多いです。また同じ言い回しが繰り返して行くので、英文の微妙なニュアンスも理解することができます。

大学生になったなら、授業から離れたところで、これまでの英語学習の裏を実感しませんか。ここから始めて、理科大図書館に所蔵されている数百冊の学習用英語読本にも手を伸ばしてみませんか。



所 属 : 野田キャンパス教養部

氏 名 : 宗内 綾子

専 門 : 英文学



書籍名 : ある男

著者名 : 平野啓一郎

出版社名 : 文藝春秋

出版年 : 2021年

自然災害、人種差別、宗教的偏見、犯罪被害、社会制度からの漏れ、身近な人への不信、家族との軋轢、愛する人の死に至るまで、人は様々な理不尽と隣り合わせて生きています。もしそうした不条理に遭遇してしまった場合、私たちは何とかしてそれに耐えながら、ひたすらに生き抜いていくことしかできません。心の中に「良き物語」を持つことは、そうした苦難において正気を保つ大きな糧になります。陰謀や悪意の見え隠れするメッセージに対する防風林として機能します。良質な小説は、そうした心の枠組みを私たちに提供してくれます。

科学を扱う主体は人間です。心の奥底に「良き物語」がなければ、私たちはいとも簡単にその扱い方を間違えてしまいます。今回は一冊だけご紹介しておきます。皆さんがこれから読むであろうたくさんの中にも、ぜひ小説も加えて下さい。そしてご自分なりの慈愛や寛容、慎み深さ、惻隱の心を見つけて下さい。



所 属 : 野田キャンパス教養部

氏 名 : 安田 利典

専 門 : 外国語教育



書籍名 : 日本サッカーに捧げた両足 ~実のJリーグ創世記~

著者名 : 木之本興三

出版社名 : ヨシモトブックス

出版年 : 2013年

日本初のプロサッカーリーグであるJリーグは、2023年で発足30周年を迎えました。10チームで始まったこのリーグも、今ではJ1リーグからJ3リーグの3部制になり、全国に60チームを抱える大きな組織に発展しています。皆さんにとっては、生まれた時から当たり前のように地域に存在したJリーグかと思いますが、発足時には数々の難題に直面していました。この難題を解決し、Jリーグ誕生を実現させた立役者がこの本の著者である木之本興三氏です。木之本氏はグッドパスチャー症候群という難病を患った状態で、Jリーグを創成するという偉業を成し遂げました。この本の中には、なぜ働くのか?という社会人としての意識、地域とスポーツの在り方、健康とウェルネスの関係など、身体知を高めるための教養の意義を考える要素が詰まっています。スポーツが好きな人はもちろん、医学や健康、地域マネジメントや経済に興味がある人にもおススメです。



所属 : 野田キャンパス教養部

氏名 : 柳田 信也

専門 : 行動生理学、運動生理学

コラム：本を読み、旅に出て、そしてまた本を読もう②

中国天津滨海新区図書館 (Tianjin Binhai New Area Library) SNSでも話題! 美しすぎる図書館 'The Evil Eye'!

アクセス 北京から天津まで高速列車で約30分。天津駅から地下鉄で約1時間の市民広場駅で下車

2017年に中国北部の港湾都市、天津にオープンした5階建の図書館です。波状の壁面には120万冊をこえる本が、床から天井までぎっしりと並んでいて(本の絵が描いてあるだけの場所もあるそうです)、本の波に囲まれながら読書を楽しむことができます。図書館の中心には大きな円球のオブジェがあり、楕円形の窓からはたっぷりの日差しが降り注ぎます。図書館の外側から窓の中を覗いてみるとちょうど目のように見えることから、「The Evil Eye」と呼ばれています。

国立国会図書館東京本館 卒論やレポートを書く時はまずここに行こう

アクセス 東京メトロ永田町駅から徒歩

東京都千代田区永田町にある、議会図書館です。館内での閲覧のみで、本を借りて帰ることはできませんが、基本的に日本国内で出版された全ての出版物が収められているので、とにかくどんな本でも見つかります!「デジタルコレクション」などの多様なデータベースの一部は、家や大学からも見られます。

大英図書館 (The British Library) 毎年300万冊ずつ蔵書が増える!! 世界屈指の研究図書館

アクセス ロンドン市内地下鉄キングス・クロス(=セント・パンクラス)駅もしくはユーストン駅で下車
ハリリー・ポッターはキングス・クロス駅の9と3/4番線から Hogwarts へ行きますが、このキングス・クロス駅から3分ほど歩けば、英国国立の大英図書館にたどり着くことができます。法定納本図書館に指定されており、英国で出版された全ての出版物が納本されるため、現在1億7000万点ともいわれているその蔵書は日々増え続けています。公共図書館なので、誰でも利用することができます。カール・マルクスは大英図書館に通い続けて『資本論』を執筆したと言われています。



大英図書館の館内。中央のタワーには国王ジョージ3世のコレクション65,000冊が収められている。



書籍名：「おいしさ」の錯覚

著者名：チャールズ・スペンス（長谷川圭（翻訳））

出版社名：KADOKAWA

出版年：2018年

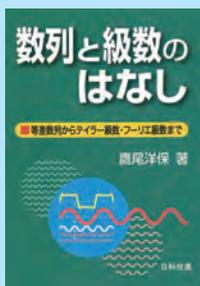
チャールズ・スペンス先生（オックスフォード大学）は、実験心理学を専門とする研究者で、食事を楽しむときの感覚に焦点をあてた新しい食の学問（ガストロフィジックス）を研究トピックスの一つとしています。このガストロフィジックス研究を通じて、おいしさに含まれる要素を分類し、脳で感じるおいしさの複雑な感覚を解き明かすべく、さまざまな実証実験を試みています。その研究成果はおいしさの探求にとどまらず、食にまつわるビジネス戦略に応用されています。調理科学の視点で解説した書籍は多くあります。しかし、これまで重要視されてこなかった対象に着目した本書は、新たな概念の創出に求められる思考変革の重要性に気づかせてくれるでしょう。本書は実験の解説文が簡潔で、参考文献も充実しています。講義の予習・復習や実験レポートで疲れたときの気分転換に一度手に取ってみてはいかがでしょうか。また、興味ある内容のところは原著論文で読んでみるのもおすすめです。



所 属：葛飾キャンパス教養部

氏 名：秋山 好詞

専 門：有機機能材料工学



書籍名：数列と級数の はなし

著者名：鷲尾洋保

出版社名：日科技連出版社

出版年：2001年

皆さんは高校で等差数列や等比数列を学び、このような数列とその和については馴染み深いものかと思います。本書は等差数列や等比数列など基本的な数列からスタートし、漸化式や数学的帰納法、テイラー級数やマクローリン級数といったべき級数、フーリエ級数といった三角級数、さらにはこれらの微分方程式への応用まで、とても易しく解説されています。特にテイラー級数やマクローリン級数は大学一年次の微分積分で必ず扱われるものですから予習や復習にもなるかと思えます。厳かな数学書というよりも気楽に読める読み物に近いです。べき級数や三角級数などの関数項級数は大学以上の数学で扱われるものですが、高校数学の知識で十分に楽しめますので興味がある人はぜひ手に取ってみて下さい。



所 属：葛飾キャンパス教養部

氏 名：石田 敦英

専 門：偏微分方程式



書籍名 : 1冊でわかるポケット教養シリーズ 数字と科学から読む音楽

著者名 : 西原稔/安生健

出版社名 : ヤマハミュージックエンターテインメントホールディングス

出版年 : 2019年

本書のタイトルに「数字と科学」と入っていますが、内容としては数学と科学の視点から音楽の理論を素人向けに解説された良書の一つです。特に、著者の安生氏によって数学と科学史の立場から、また著者の西原氏によって音楽理論史と実践の立場から音楽を考察するという本です。新入学生の皆さんの中には、残念ながら数字は実生活とは乖離している、単なる公式を覚えて計算をするだけのものだと思っている方もいるのではないかと思います。数学は自然科学の言語であるとともに、普段の私たちの生活の中には見えないくらい応用されていて、数理の構造の根幹を成している学問だと私自身は思っております。その一つ例として、音楽を題材としている本書を推薦いたします。相対性理論で有名なアインシュタインとバイオリンの話が科学史の観点から解説されています。音楽には興味がないという方も素人向けに読める内容になっていますので、ぜひ手に取ってみてください。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 板場 綾子

専 門 : 代数学



書籍名 : 百年の孤独

著者名 : ガブリエル・ガルシア・マルケス

出版社名 : 新潮社

出版年 : 2024年 (原作は1967年)

百年の孤独 (Cien años de soledad)。タイトルがかっこいい。単にかっこいいから、同じ名前を付けた焼酎も売られている。かっこいいから手にとってみよう。長いし、登場人物の名前が覚えられない。何が現実で何が夢の中なのかわからない。この不思議さが、西洋文学にかつてない魔術的リアリズムと評され、ノーベル文学賞も受賞した。せっかくの大学時代、全てがわからなくてもいいじゃない。キャンパスの芝生に座って、ページを繰ってみよう。ガブリエル・ホセ・デ・ラ・コンコルディア・ガルシア・マルケス。南米コロンビアの作家だ。名前が覚えられなくても大丈夫。「ガルシア＝マルケス」の部分しか誰も覚えていない。わからないことにこそ、たくさん時間を使ってほしい。

追伸。信じられないような気もするが、出版から60年近くたったこの本は、2024年に文庫版が出されてから日本でものすごく売れている。Amazonなどの各種ランキングをぜひ確かめてほしい。(写真は、南米先住民の文化、「パチャママ (大地の女神) の日」の供え物)



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 宇田川 彩

専 門 : 文化人類学、スペイン語



書籍名 : 増補新版 「人間の条件 そんなものない」

著者名 : 立岩真也

出版社名 : 新曜社

出版年 : 2018年

ようやく受験戦争から解放されたあなた。これからまた競争が待っています。点数、進路、就活、容姿、〇〇格差…これらに振り回されていませんか？「ポジティブ信仰」に脅かされていませんか？「メンタル強い/弱い」という言葉に踊らされていませんか？ネガティブ要素って、誰の中にも存在していませんか？自分を客観視することは大事だけれど、あなたが感じたことは全部正しいのです。

耳に心地よい、勢いのある、寛容を切り捨てた言葉は、自分も他人も追い詰めます。

2023年に急逝した「生存学」のたおやかな師匠が、「そのままの姿で生きることの価値」を平易な言葉で紡ぎます。「そんなことない」と思うあなた。ちょっとだけ手に取ってみて下さい。

シェイクスピアも持っていたといわれる「ネガティブ・ケイパビリティー 答えの出ない事態に挑み続ける底力」を想起させる名著です。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 太田 智加子

専 門 : 視覚障害教育、社会言語学



書籍名 : 扉の向こう側

著者名 : ヤマザキマリ

出版社名 : マガジンハウス

出版年 : 2023年

スマホをちょっとポケットに入れて、5分ほど本を開いてみませんか。著者ヤマザキマリは漫画家で、『テルマエ・ロマエ』『プリニウス』など古代ローマを舞台に壮大な作品を書いています。『扉の向こう側』は17歳で単身イタリアに絵を学びに出かけた著者の経験、出会ったひとたちの思い出を語ったエッセイ集です。著者は偶然の出会いに導かれるようにして現在イタリアを拠点に暮らしています。その行動力もさることながら、「常識」「慣例」に縛られることなく、自身の信条に従って生きるひとびとに対する敬意もまた清々しい。一般常識では説明のつかない、ひとびとの不可解な行動を、すっと受け止める著者の精神のしなやかさ——「世間体や常識の向こう側に行かなければ出会うことのない、かけがえのない人もいるのだ。」電車やバスを待つ5分でひとつの物語に出会えます。偶然、開いたページの「扉」の向こう側を覗いてみると、未知のひとびとの行動を、あなたならどう受け止めるでしょうか。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 金澤 淳子

専 門 : アメリカ文学・文化



書籍名：新美南吉童話集

著者名：新美南吉

出版社名：岩波書店

出版年：1996年

幼い頃から周りの顔を窺い、無難に立ち回る術を嗅ぎ付けることだけは我ながら天才的に巧かったため、大人が子供に何を求めているかといったことには妙に敏感で、その証拠とも言うべきか、小学校の夏休みの宿題だった読書感想文では（普段から活字など読みもしないくせに）随分と偉そうな賞をいただいたこともありました。そのときの題材が新美南吉の『花のき村と盗人たち』だったことは間違いないのですが、そもそもが不均な動機ゆえの出会いだった罰でしょうか、ほんの数カ月後に振り返っても、作品の細部を一切覚えていないのですから、自分の愚かさにはさすがに呆れ果てました。そんな後ろめたさを拗らせたまま歳を重ね、四十を過ぎようかという頃に、書店で本書を見かけて思わず手に取ったのは、今から思えば「やっと赦してもらえた」のかもしれませんが。国語教科書の定番教材として触れた人も多いはずの新美作品。空気ばかり読んで作品を読んでこなかったわたしのような人にこそ、意地を張らずに帰ってきてほしいと思います。童話は、大人を見捨てない。



所属：葛飾キャンパス教養部

氏名：北 和文

専門：応用言語学



書籍名：悪人の物語（中学生までに読んでおきたい日本文学1）

著者名：松田哲夫（監修，編集）

出版社名：あすなろ書房

出版年：2010年

編集者のセンスが光るシリーズです。中坊の頃からこうした人の世の機微を理解できていればもう少しマシな人間になっていたろうな…、という未熟なおトナたちにこそ捧げたい。



所属：葛飾キャンパス教養部

氏名：木名瀬 高嗣

専門：文化人類学・社会史



書籍名 : 馬の世界史

著者名 : 本村凌二

出版社名 : 中央公論新社

出版年 : 2013年

「世界史? あんな暗記科目はもううんざり!」と思っている理科大学生は少なくないでしょう。しかし、薬や化学物質の名称を間違えたら命の問題につながる可能性があります。歴史上の人物の名前を間違えても命にかかわることはほとんどないはず。この本では、馬という動物を主人公として世界史の景色を眺めています。現在は主に機械に取って代わられていますが、かつて馬は有用な移動手段であり、農耕の仲間であり、強力な軍事技術の重要な一部でもありました。したがって、馬は人類の歴史を大きく動かす原動力でもあったのです。歴史を学ぶことは、過去という異文化を体験することによって現在を相対化できるきっかけになると思っているのですが、馬と人間との関係に着目することも不思議な異文化体験になるかも知れません。馬にあまり興味がない方でも、世界史が好きではない方でも、一度読んでみては如何でしょうか。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 金 凡性

専 門 : 科学社会学・科学技術史



書籍名 : 中島みゆき全歌集 1975-1986

著者名 : 中島みゆき

出版社名 : 朝日新聞出版

出版年 : 2015年

「静けさのうちでしか聞くことのできない声 (詩) を読む」

私の手元にあるのは、1990年刊行の『中島みゆき全歌集』(長らく入手困難だったらしいが、2015年に復刊した)。反則的かもしれないが、序文にあたる「詞を書かせるもの」を読んだ後、詩人・谷川俊太郎の中島みゆき解剖学(解説)を読んでほしい。私が冒頭に記した言葉は、その谷川の解説文から引用した。私にとって、この二人は1980年代からの先生。先生のことをばを読み、静けさに導かれてほしい。そして時間があれば、歌を音楽で、中島みゆきの声で聞いてみるといい。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 慎 蒼健

専 門 : 科学史・医学史



書籍名 : 「みんな違ってみんないい」のか? — 相対主義と普遍主義の問題

著者名 : 山口裕之

出版社名 : 筑摩書房

出版年 : 2022 年

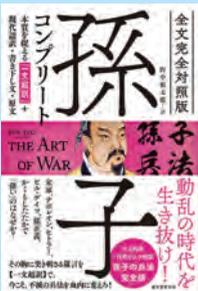
「みんな違ってみんないい」、みなさんはこの言葉が無条件で好ましいものだと思いますか? 各人の考えや特性が認められるのは当然良いことですが、異なる意見や関わりたくないものを遠ざけるためにこの言葉が使われる時があります。その時、議論や対話といった、社会をより良くしていくために必須の行為は不要なものとなされます。本書の著者は、こうした考え方をのりこえて、対話していくことの重要性を明快に論じます。対話をする上で大事なものは学ぶ姿勢ですが、「学び成長するとは、今の自分を否定して、今の自分でないものになるということです。これはたいへんに苦しい、ときに心の傷つく作業です」と著者は言います。こう聞くと学ぶことが「怖い、嫌だ」と感じる方もいると思いますが、それは同時に他者や他の生命と関わり自分自身を自由にしていく楽しい作業でもあります。自分という狭い枠から出て、新しい考えや価値観に触れる楽しさを味わう手始めに、本書を読んでみてはいかがでしょうか?



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 田尻 歩

専 門 : 美術史関連



書籍名 : 全文完全対照版 孫子コンプリート: 本質を捉える「一文超訳」+現代語訳・書き下し文・原文

著者名 : 野中根太郎

出版社名 : 誠文堂新光社

出版年 : 2017 年

勝負の行方は、戦いが始まる前に大方決まっている。戦わずして勝つのが最善であるが、戦わなければならない状況でも決して負けないように、日頃から準備しておく必要がある。常に他者より多くのことを考え、多くの状況を想定し、多くの対策を練ることが、この厳しい競争社会を生き抜くための作法である。勝つ者は勝つべくして勝つ。地道に勝算を積み上げて、いざというときに勝てる人間になろう。

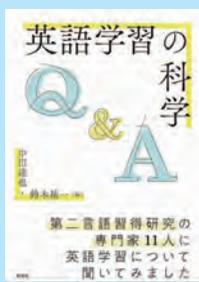
『多算勝、少算不勝、而況於無算乎』(孫子)



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 田中 亮太郎

専 門 : 関数解析学



書籍名 : 英語学習の科学

著者名 : 中田達也、鈴木祐一(編)/濱田暁、門田修平、濱田彰、神谷信康、新谷奈津子、新多了、廣森友人、鈴木渉、佐々木みゆき(著)

出版社名 : 研究社

出版年 : 2022 年

For students who would like to really engage with language learning development and attempt to make positive gains in this area, this book will be beneficial. In this book, experts at the forefront of second language acquisition research from Japan answer questions posed by English language learners in Q&A format style. The contributors make full use of their knowledge in their respective fields of expertise to provide accessible and comprehensible answers to commonly asked questions about second language learning and acquisition. The perspectives of each specialist provide easy-to-understand explanations not only in areas of learning, such as vocabulary, grammar, and pronunciation, but also about different skills, like reading, writing, listening, and speaking. Other themes and variables such as individual differences, motivation, study abroad, and childhood learning are discussed too. Each chapter contains a helpful list of book recommendations for further reading. I believe this is a valuable book that provides an overview of second language acquisition research as well as an overview of English language learning methods that are evidence-based. I hope this book can provide students with some robust and effective strategies to approach language learning in a meaningful way and help learners to understand the science underpinning second language acquisition.



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : Matthew W. Turner

専 門 : 英語教育



書籍名 : 脳はなにかと 言い訳する

著者名 : 池谷裕二

出版社名 : 新潮社

出版年 : 2010 年

私たちは普段生活をしていて無意識に様々なことを実行していることが多いのではないのでしょうか。これら一連の実行には脳が関係しています。本書では、この無意識の行動や意思決定プロセスの背後にある複雑なメカニズムにおける脳の働きを理解することができます。そして、文章は科学風エッセイとして書かれているため大変読みやすく、脳の働きを理解する入門書としておすすめの本です。

また、本書は心理学や神経科学の知見をもとに書かれているため、その知見のもととなった原著論文が参考文献として数多く記載されています。文中において、さらに深く知りたい内容があれば、この参考文献を通して簡単に専門的な研究内容を詳しく知ることが可能です。本書を読み、脳が持つ特性を理解することで自己理解につながるのではないのでしょうか。脳科学に興味がある学生はぜひ読んでみてください。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 中井 定

専 門 : 健康科学



書籍名 : 凍として灯る

著者名 : 荒井裕樹

出版社名 : 現代書館

出版年 : 2022 年

1974年4月20日、東京国立博物館で開催された『モナ・リザ展』一般公開初日。「人類の至宝」とも呼ばれるこの絵画に、「女性解放」を掲げたウーマン・リブの運動家であり、障害者でもある一人の女性が赤いスプレー塗料を噴射しました。『モナ・リザ展』が、障害者や幼児連れの女性の入館を拒否していることへの抗議でした。女性はなぜこのような行動に及んだのか、彼女の生活史をたどりながら解き明かしていくのが本書です。女性として障害者として差別されながら、同時に軽度障害者として重度障害者を軽んじてしまうなど、被害者と加害者のどちらにもなり切れない存在だからこそ、彼女は誰よりも切実に人間の尊厳の問題を問い続けました。たとえ第三者からすれば不合理に見える行為であっても、その背景にはその人なりの理由や根拠があります。そうした「他者の合理性」を理解することは、一般の人々の生活や思いをおろそかにしない科学者・技術者になるうえでも重要です。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 西倉 実季

専 門 : 社会学



書籍名 : 数学者たちの黒板

著者名 : ジェシカ・ワイン (徳田功訳)

出版社名 : 草思社

出版年 : 2023 年

本書は「普段垣間見ることの少ない数学者の黒板を写真に写し、その数式を書いた数学者のエッセーを収めた、異色の数学エッセー×黒板写真集」(版元より)です。私はこれを、写真集として知りました。黒板って、濃い緑のものが多いの、昔から黒と見なされていますね。筆記具が白だから？ すでに高校の時点で数学をあきらめた私には、本書に収められている数々の数式の意味はわかりませんが、それらは、第一線の数学者たちの思考の軌跡として、芸術的な白黒写真のように私を魅了します。同僚の数学の先生方に本書を紹介したところ、好評でした。中には、師匠筋の偉大な数学者の黒板が載っていると教えてくれた方があり、うれしくなりました。思うに、板書の良さは「ノイズ」にあります。ノイズは情報を活かすもの、活かした瞬間に、認知と引き換えに消えてしまい、復元することはできません。日々の授業をそんな風に受け止めてくれたら。ちなみに、フランス語では黒板を使う私の板書は「汚い」と、よく言われます。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 昼間 賢

専 門 : 仏語仏文学 芸術



書籍名：縄文海進

著者名：遠藤邦彦／小宮雪晴／野内秀明／野口真利江

出版社名：富山房インターナショナル

出版年：2022年

地球上の気候変動は約10万年スケールの氷期間氷期サイクルに支配されている。関東平野において、最終氷期が終わる、縄文海進が始まった1万1千年ほど前の海面は、現在より50mあまり低かった。その後の海面上昇により海岸線は100km以上も内陸に移動した。この海岸線の移動を「縄文海進」と呼ぶ。

一方で日本の近代考古学は、モースによる大森貝塚の発見から始まった。その後の関東平野の大開発に伴い、ボーリングと微化石調査が世界でも希にみる密度で行われた。その結果、貝塚の分布が縄文海進に伴う当時の海岸線の変化を反映していることが理学的にも証明された。本書では、このような東京湾周辺での海面変動に関する最新データを紹介し、海岸線の移動を詳細に記した古地図を示し、縄文人はいかに環境の変化に対して積極的に行動していたか、その実態をあきらかにしている。日本の第四紀学をけん引してきた筆者による渾身の一冊である。



所 属：葛飾キャンパス教養部

氏 名：船引 彩子

専 門：地理学



書籍名：ミレニアム1～6

著者名：スティグ・ラーソン、ヘレンハルメ著、ヘレンハルメ美穂訳、岩澤雅利訳

出版社名：早川書房

出版年：2011年（1の上）～2021年（6の下）

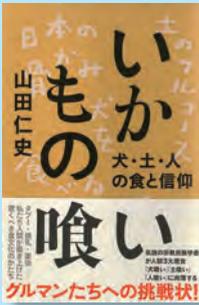
スウェーデン発のミステリー推理小説である本書は、本国スウェーデンで歴史的ベストセラーとなり、全世界で6000万部を売りあげた大ヒット作である。スウェーデンを舞台にジャーナリストであるミカエルと謎多き天才ハッカーであるリスベットの、大企業の犯罪や、世界的規模で展開される性差別と性搾取、ヨーロッパにおける人種主義やネオナチの存在と対峙していく。「ポスト冷戦」以降の現代社会にはびこる重大な社会問題をテーマにしながらも、張り巡らされた伏線と見事な謎解き要素が相まって読み物として純粋に面白い。なお、本書の著者はジャーナリストであるだけに本書の内容にはリアリティがありながらジャーナリズムの奥深さとかつよさを教えてくれる。



所 属：葛飾キャンパス教養部

氏 名：洪 昌極

専 門：歴史学



書籍名 : いかもの喰い—犬・土・人の食と信仰

著者名 : 山田仁史

出版社名 : 亜紀書房

出版年 : 2017年

いかものぐいとは、一般的には食べられないものを意図的に、または好んで食べることを指し、悪食とも呼ばれます。本書は食文化に焦点を当てており、タイトルにある通り、犬や土、カニバリズムなど、思わず「えっ!？」と驚くようなテーマが並んでいます。これらの食材は、普段の食事ではなく、特別な状況で消費されることが多いのです。例えば、中国では飢饉の際に「観音粉」や「石麵」といった白い土を食べることがあり、日本の古典文献にも「土粥」として記録されています。また、ヨーロッパでは「石バター」や「山粉」として知られています。さらに、飢饉時のみならず、多くの文化で妊婦が土を食べる事例も取り上げられており、因果関係は不明ですが、鉄欠乏性貧血との関連が指摘されています。

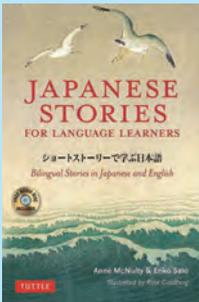
著者の山田仁史(1972-2021)は、宗教民族学学者であり、幅広い知識を持ち、世界中の奇妙な食文化を丁寧に紹介しました。新入生の皆様も、ぜひ本書を手に取り、奇妙で不思議な旅を始めてみましょう。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 陳 宣聿

専 門 : 宗教学



書籍名 : Japanese Stories for Language Learners

著者名 : Sato, E., McNulty, A.

出版社名 : チャールズ・イー・タトル出版

出版年 : 2018年

There are many ways to learn a foreign language, such as English. One may study its grammar, memorize vocabulary, learn key phrases, but ultimately one needs to know how the language works naturally in context. One of the best ways to learn a language is through stories. This is because we must use language in both natural and creative ways when one writes or tells a story. With enough background vocabulary and knowledge, the student will be able to comprehend unknown words based on the context of the story. I wish to recommend the volume called *Japanese Stories for Language Learners*. Some, if not many, of these stories will already be familiar to young Japanese learners and therefore they can draw on their rich background of knowledge when reading or listening to these stories, which they may be hearing in English for the first time. This particular volume is a bilingual edition. This means that students can read or listen to the stories first in English and check their understanding later in Japanese. In addition, the book also comes with free online MP3 audio so that students can enjoy listening to the stories as well, which can be utilized to help with pronunciation and activities like shadowing. Once students listen to all of these stories, I recommend a similar volume by the same publisher called *Japanese Folktales for Language Learners*. This is a fun way to learn more about the contextual nuances of the English language.



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : McLaughlin, Matthew

専 門 : English literature



書籍名 : **すべては救済のために デニ・ムクウェゲ自伝**
著者名 : デニ・ムクウェゲ、ベッティル・オーケルンド 訳:加藤かおり
出版社名: あすなろ書房
出版年 : 2019年

本書は、2018年にノーベル平和賞を受賞したデニス・ムクウェゲ氏の自伝です。ムクウェゲ氏は、コンゴ民主共和国東部の紛争地域で性暴力の犠牲になっている女性のために長い間活動をされている医師です。多くの日本人にとってコンゴは馴染みのある国ではありませんが、本書でも述べられているように、コンゴの紛争地域は、携帯電話や電気自動車などの電気製品に必要な鉱物の産地でもあり、私たちの生活と関係が深い地域とも言えます。この自伝では、ムクウェゲ氏の幼少期から現在に至るまでがつづられており、彼の人生をたどることができると同時に、1960年にベルギーから独立した時から今日に至るコンゴ（ザイール）の歴史や実態も彼の視点を通して理解することができます。ムクウェゲ医師の献身や希望を抱き続ける前向きな姿に心を打たれるとともに、現在も続くコンゴ東部のきわめて深刻な状況について知り、視野を広げるきっかけとなる一冊です。



所 属: 葛飾キャンパス教養部
氏 名: マスワナ 紗矢子
専 門: 応用言語学



書籍名 : **体癖**
著者名 : 野口晴哉
出版社名: 筑摩書房
出版年 : 2013年

野口整体を創始した野口晴哉による著書が文庫化されたもの（名称は似ているが、野口整体と野口体操とは異なる）。体の構造や感受性の方向によって、人間を12種類の「体癖」から理解する。現代の、いわゆる西洋医学的な考え方に馴染んだ私たちにとって、人間や健康に関する観点を拡張してくれる一冊であろう。時代を感じさせる記述や難解な文章・構成がみられるが、まずは一読してみると何かが変わるかも知れない。



所 属: 葛飾キャンパス教養部
氏 名: 松浦 真澄
専 門: 臨床心理学



書籍名 : カンガルー日和

著者名 : 村上春樹

出版社名 : 講談社

出版年 : 1986年

多くの出会いが待っている新入生の皆さんへ、ということで、出会いを扱った印象深い作品を含む村上春樹の短篇集『カンガルー日和』を選びました。「4月のある晴れた朝に100パーセントの女の子に出会うことについて」がその作品です。レポートみたいなタイトルだな、と思った人、鋭いと思います。この作品はまさに“4月のある晴れた朝に100パーセントの女の子に出会うこと”についての作品です。主人公の男性は、4月のある晴れた朝、原宿の裏通りで彼にとって100%の女の子とすれ違います。さて、想像して下さい。100%の女の子とすれ違った主人公の行動を。思わずたちすくむ？明るく声をかける？じっと見つめる？答えは、主人公自身の語りによって明かされます。その語りは、「出会いとは？」という問いに読者を導き、「出会い」について考えるきっかけを与えることでしよう。今後、皆さんはさまざまな出会いを経験します。この作品との出会いは、日々繰り返される出会いとの向き合い方を変えるかもしれません。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 松本 和子

専 門 : イギリス文学



書籍名 : 世界をまどわせた地図 伝説と誤解が生んだ冒険の物語

著者名 : エドワード・ブルック=ヒッチング (関谷冬華訳)

出版社名 : 日経ナショナル ジオグラフィック

出版年 : 2017年

新しい土地、新しい環境への旅立ちは「冒険」であり、「航海」の比喩とともに地図を欲する。高校までは学校が用意した、すでに開拓され舗装されて目印もはっきりした地図の中で勉強してきた。しかし、大学ではいよいよ前人未到の土地へと知的冒険を始めるのだ。大学入学で渡されるのは「ガイダンス (道案内)」という名の粗末な地図のみである。本書掲載の地図を眺めると、魅力的な図面にワクワクする一方でそれぞれに多くの人が幻惑されたことに驚きを禁じ得ない。君が今手にしている地図は正しいのか。疑うだけではダメだ。確かめるには自分の足で歩いてみるしかない。さあ、行けるところまで行ってみよう。これまで多くの人が希望とともに未完の地図を片手に航海を始めた。プラトンのアトランティス大陸、レムリア大陸やムー大陸。自分の冒険物語をはじめこの機会に、想像力豊かで様々な物語を生み続けている魅力的な地図を眺めてみないか。君の知的冒険の船出にふさわしい本がここに。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 村上 学

専 門 : 哲学



書籍名 : 眠れない一族 一食人の痕跡と殺人タンパクの謎

著者名 : ダニエル T. マックス

出版社名 : 紀伊國屋書店

出版年 : 2007 年

時間の嗜好性をクロノタイプと呼びますが、一般的に大学生である皆さんは、「夜型」で、深夜まで活動することが得意な年代です。これからの大学生生活では、レポートや課題、アルバイト、友人付き合い等で、夜更かしやオールを多く経験することでしょう。大学生の頃の私も、楽しいことややってみたく山ほどあり、眠っている時間をもったいないと思っていました。私が「致死性家族性不眠症 (FFI)」という病気を知ったのは、大学3年生のゼミの時間ですが、FFIが発症すると、眠りたくても眠ることができずに、認知機能の低下や交感神経の過活動を伴い、半年から数年で死に至るといいます。また、日本にも FFI の家系がいるということを知り、大変衝撃を受けるとともに、眠れることは当たり前ではなく、有難いことなのだと感じたことを覚えています。

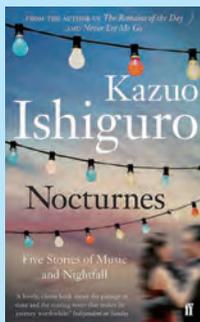
この本は、イタリアのある眠れない一族 (FFI 家系) の数世紀にわたる物語を軸に、その原因であるタンパク質「プリオン」の存在が明らかになる過程を追ったメディカルミステリーです。同時並行で同じプリオン病であるクロイツフェルト・ヤコブ病、クールー病、スクレイビー、狂牛病にも話が広がり興味深く読み進めることができます。登場する研究者の人間性や社会の動きなども読みどころです。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 守田 優子

専 門 : スポーツ科学・睡眠学



書籍名 : Nocturnes : Five Stories of Music and Nightfall

著者名 : Kazuo Ishiguro

出版社名 : Faber & Faber

出版年 : 2009 年

Nocturnes (2009) is a collection of five musically-inspired short stories written by the celebrated British novelist Kazuo Ishiguro, whose skill as a storyteller was recognised with a Nobel Prize in Literature in 2017. His novels, including *The Remains of the Day* (1989), *Never Let Me Go* (2005), and *Klara and the Sun* (2021), span a variety of different genres, ranging from historical fiction to science fiction and fantasy. Ishiguro's style of English prose, as well as the plot lines of his stories, appear deceptively simple. While the language is easy to read, the complexity and psychological depth of his characters quickly draw the reader in on an emotional level, often making his books hard to put down. The stories in this collection are set in different times and locations, from Venice to the English countryside to Los Angeles, but are also subtly linked together. As in Ishiguro's novels, the stories feature narrators who are at times unreliable, and whose self-deception is only gradually revealed. Due to the more limited scope for character development of the short story format, *Nocturnes* is less gripping than some of the author's best novels. Nevertheless, the five stories are entertaining and at times touching too. They can be read quickly and will give the reader who is new to Ishiguro's work a delightful first taste of what the author has to offer, exploring his favourite themes of identity, memory, longing, and the passage of time.



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : マイケル・ホフメア

専 門 : 応用言語学



書籍名：一九八四年

著者名：ジョージ・オーウェル著・高橋和久訳

出版社名：早川書房

出版年：2009年

1948年に執筆されたこの名作SF小説の舞台は、1984年のロンドンでビッグブラザーと称する権力者により支配されています。小説のなかには、完全なる監視社会での人々の生活や行動について描かれています。例えば、家にはテレスクリーンと呼ばれるカメラが設置されており、町中にマイクが仕掛けられています。また、人類の知性や感性が記されている書物は廃棄され、情報を残す際は筆記ではなく録音です。そして、違うなにか（思想や言動など）が見つければ、個人の存在自体が消えてしまう結末を迎えます。なお、私たちの住んでいる東アジア地域は、「自己滅却」をイデオロギーとする別の全体主義国家により支配されています。

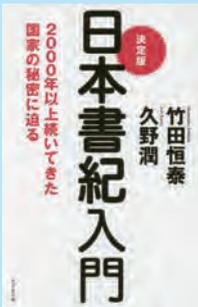
パンデミックの際に、人工知能を利用した監視システムの導入の是非が議論になりました。この本のことを、日常に還元して想像してみましょう。プライバシーとはなにか、自分はどこまで受け入れられるのかなどについて考えてみましょう。



所 属：葛飾キャンパス教養部

氏 名：李 海燕

専 門：東アジア地域研究



書籍名：日本書紀入門

著者名：竹田恒泰、久野潤

出版社名：ビジネス社

出版年：2019年

著者達も記しているが、本書は日本書紀を解説しているというよりも、日本書紀に興味を持って欲しいという思いを綴った一冊である。日本書紀とはどういう物か、また先人達にどのような影響を与えたか、などが記されている。私自身「日本書紀を読みたいぞ（つまりまだほとんど読んでいない）」という段階なので恐縮するが、是非一読いただきたい。私はかつて歴史にはあまり興味がなかったが、某ゲーム（三国志、しかも初代！）をきっかけに興味を持つようになった。年表を覚えるだけの歴史ではなく、先人達の息吹を感じ、歴史「に」学んで、それを今の日本に、また我々の大切な権利である選挙に於ける投票に、生かすことは重要であろう。その一助として日本書紀を読もうという気持ちになるのではないだろうか。



所 属：葛飾キャンパス教養部

氏 名：宇津 栄三

専 門：物理学、原子核理論



書籍名 : ひとり暮らし

著者名 : 谷川俊太郎

出版社名 : 新潮文庫

出版年 : 2001年

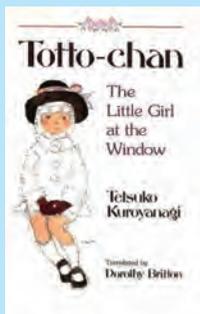
昨年逝去された現代詩を代表する詩人、谷川俊太郎氏のエッセイ集を推薦します。谷川氏と言えば、皆さんも一度は教科書でその詩を読んだことがあるのではないのでしょうか。詩の他にも絵本や言葉あそび、作詞、翻訳など「ことば」を多角的に見つめていた人物です。偉大な文学者でありながら、機械にも興味を持ち、ラジオのコレクションが趣味といった一面もありました。本書はそんな偉大な詩人の日々の考えを親しみやすい言葉で読める一冊です。そして実はこの本には、私のことが書いてあります。子供の頃から谷川氏の作品が大好きだった私は、詩の感想をご本人に送ったことがありました。小学生の書いた手紙にも翌日にはお返事をくださり、それから時々お便りを交換していたのです。私も今は研究者となり書籍を出版したり時には引用されたりする身となりましたが、あの時、大好きな本の1ページに自分の名前を見つけた喜びは忘れられません。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 細川 尚子

専 門 : 社会言語学



書籍名 : Totto-chan: The Little Girl at the Window.

著者名 : Tetsuko Kuroyanagi, (translated by Dorothy Britton)

出版社名 : KODANSHA

出版年 : 1981 (Original Japanese Publication) (2011: First U.S. Edition)

"Totto-chan: The Little Girl at the Window" is Tetsuko Kuroyanagi's poignant memoir of her experiences at Tomoe Gakuin in the 1940s against the backdrop of WW2. Too disruptive for her conventional classroom, Totto-chan's mother must find her a new school, which she does, and it changes the course of her life. Founder and Headmaster Sosaku Kobayashi welcomes Totto-chan into his innovative school, Tomoe Gakuin, with open arms after four hours of listening to her introduce herself. Never before has a teacher listened to her so attentively or so patiently in her little life. This unorthodox school, which uses an abandoned train car for a classroom in what is now Meguro Ward in Tokyo, is a magical place where children learn to accept each other and themselves as they explore the world around them, learning valuable life lessons along the way. At Tomoe Gakuin, even traditional subjects, including math, science, and music, are taught creatively, as though school is an adventure and never a chore. Students are encouraged and taught by example and spend their days developing valuable life skills not easily taught in textbooks, including empathy and acceptance. Each child is embraced and treated with kindness and patience, never defined by their shortcomings, disabilities, or mistakes. Viewed as the unique person they are and the great person they can become, the children develop a strong sense of confidence that will guide them through the turbulent times they face as the world changes around them.



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : Darnell Watson

専 門 : 外国語教育



書籍名：『黄金比』自然と芸術にひそむもっとも不思議な数の話
 著者名：スコット・オルセン著、藤田優里子訳
 出版社名：創元社
 出版年：2009年

数は、0と1を基準の数として、それから整数、有理数、実数へと広がっていきます。また、微分積分学ではネイピアの数 e （無理数）がそれを支え、また、面積や体積の議論では、円周率 π （無理数）が重要な役割を果たします。ところで、これらとは別に、数や図形を語る上で、もう1つ鍵となる数「黄金数」（無理数）が存在することをご存じでしょうか？ この書籍「黄金比」では、この世の森羅万象が「黄金数」「黄金比」により陰で支えられていることが、絶妙な語り口で綴られています。黄金比が、自然界にそっと隠れていること、古建築物や日常のアイテムなどに密かに取り入れられていること、音楽や美術に自然に織り込まれていることなど、読む者はそれらの解説に引き込まれていきます。高校までの初等的数学（初等幾何学、数列など）の知識があると読むことができると思います。ぜひこの図書で「黄金比」の姿を感じ取っていただければと思います、この書籍を紹介いたします。



所 属：北海道・長万部キャンパス教養部
 氏 名：五十嵐 雅之
 専 門：数学

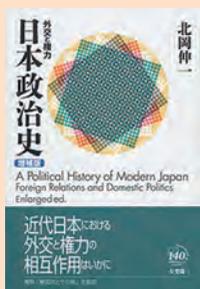


書籍名：世界はラテン語でできている（SB新書641）
 著者名：ラテン語さん
 出版社名：SBクリエイティブ
 出版年：2024年

英語の歴史は、アングロ・サクソン民族がブリテン島に到来した西暦449年に始まります。歴史上、英語は多くの単語を外国語から借用してきました。東京理科大学の英語名はTokyo University of Scienceですが、そこに含まれるUniversity, Scienceの語源はいずれもラテン語に遡ります（universitasとscientia）。現代社会におけるラテン語の影響を扱う書籍として、2021年1月にTwitter（現X）でひろゆきを論破したことで知られる「ラテン語さん」が書いた『世界はラテン語でできている』（SBクリエイティブ、2024年）があります。本書は、世界史、政治、宗教、科学、現代、日本の6つの分野に焦点を当て、それぞれの領域で観察されるラテン語の影響を具体例で示します。なお、私が所属する長万部キャンパス正面玄関の上にspes novaという句が刻まれています。このラテン語は「新しい希望」を意味し（spesは女性名詞単数主格形でnovaは形容詞novusの女性単数主格形）、新たな希望を持って長万部キャンパスで寮生活を始める新入生にふさわしいものとなっています。



所 属：北海道・長万部キャンパス教養部
 氏 名：市川 誠
 専 門：英語史



書籍名：日本政治史（増補版）

著者名：北岡伸一

出版社名：有斐閣

出版年：2017年

日本近現代の歴史（幕末のペリー来航から、冷戦終結までの130年）をわかりやすく、ダイナミックに描いた本です。著者が政治外交史研究の第1人者ですので、この本では国際関係と日本国内の政治が密接に結びつけられています。対外問題に対して、日本の権力がいかにして対応したのか、時代ごとに学ぶことができます。日本近現代史がコンパクトにまとめられており、「これまで日本史を勉強してこなかった人」、「日本政治に興味がない人」も、楽しみながら学ぶことができます。巻末の年表、章ごとの参考文献など、付録も充実しており、「日本近現代史を深く学びたい人」にも対応しています。ぜひ、手に取ってみてください。



所 属：北海道・長万部キャンパス教養部

氏 名：井上 敬介

専 門：日本史



書籍名：博士の愛した数式

著者名：小川洋子

出版社名：新潮社

出版年：2005年

交通事故によって80分しか記憶が持続しない数学者の温かなお話です。本作品では、数学者宅の家政婦を一人称として、物語が展開されます。推薦人自身は、家政婦の子供のあだ名を「ルート」とする（映画のポスターにも書かれていました）ユニークさに興味を湧いて以来、登場人物同士が心を通わせる穏やかな流れに惹かれています。タイトルが示唆するように、博士との会話では、虚数 i やネイピア数 e をはじめ、友愛数、完全数、素数といった数論の話題が数々出ます。電話番号や靴のサイズなどの何気ない数字に対しても特別な意味を持たせるような、教養として面白い場面も多いです。数学好きであれば、こうした話題に興味を湧くことは間違いありません。数の美しさを通して、幸せとは何か？という問への答を考えさせられます。小説版でも映画版でも、機会があればぜひご覧ください。



所 属：北海道・長万部キャンパス教養部

氏 名：江夏 洋一

専 門：数学



書籍名 : 開国前夜の世界

著者名 : 横山伊徳

出版社名 : 吉川弘文館

出版年 : 2013年

「変わる世界とつながる日本」。この本の帯紙に書かれたキャッチコピーです。時は今から約200年前の18世紀末から19世紀前半、日本史の時代区分でいうと江戸時代にさかのぼります。地球規模での「モノ」・「ヒト」を巡り、ヨーロッパを中心とした植民地を求める争いが激化するなか、いわゆる「鎖国」を掲げる日本はどのような対応をせまられ、変容したのか、否せざるをえなかったのか。刻々と変化する海外情勢（変わる世界）と、日本のかじ取りをする幕閣の苦悩から庶民たちの反応（つながる日本）までを連動させながら、列島を取り巻く激動の時代の流れを最新の研究をもとに丁寧に追求した読みごたえのある好著です。こうした複雑かつ重層的な諸問題に立ち向かう姿勢は、現代を生き抜く私たちにも数多くの示唆を与えてくれます。



所 属 : 北海道・長万部キャンパス教養部

氏 名 : 菅原 慶郎

専 門 : 日本史



書籍名 : 恋愛の社会学「遊び」とロマンティック・ラブの変容

著者名 : 谷本奈穂

出版社名 : 青弓社

出版年 : 2008年

本書では、歴史の視点より、日本人恋愛観の変容を始め、日本の大学生の恋愛観をアンケート調査し、若者の恋愛観点を分析している。また、人間関係、魅力ある異性像、アプローチの仕方、別れの理由なども解明し、そして社会規範と性別規範を考えれば、モテる男・モテる女の条件が分ると論じている。私は、恋愛学は、大学生にとって必修な科目かと考えているので、恋愛に関する本をおすすめしたい。一体恋愛は何でしょうか？答えが知りたい皆さんはぜひこの本を読んでみてください。



所 属 : 北海道・長万部キャンパス教養部

氏 名 : 鄭 稼棋

専 門 : スポーツ人類学



書籍名：東京理科大長万部学寮物語

著者名：村上学

出版社名：ダイヤモンド社

出版年：2011年

東京理科大学北海道・長万部キャンパスは、学部1年生のみが寮で生活しつつ、勉強や課題活動に勤むという、日本でも珍しいタイプのキャンパスです。本書は、そこで教鞭をとっていた村上学先生が執筆された本です。登場する4名の学生には特定のモデルが存在するわけではないですが、「こんなエピソード、実際にあったなあ」と、長くキャンパスに居る推薦者も感じる内容です。学生の所属は初版発行当時の理系学部から現在の経営学部と変わりましたが、しかし、今も昔も寮での生活はほとんど変化していないように感じます。したがって、当キャンパスに在籍する学生には参考になるかと思えます。また、東京理科大学にこのような珍しいキャンパスがあることを知るためにも、他学部他学科の学生にも、読んでいただきたいです。余談ですが本書の99ページには、推薦者が研究しているホタテの話も紹介されていますが、この部分は、登場する金属元素名以外は実話です。



所 属：北海道・長万部キャンパス教養部

氏 名：竹内 謙

専 門：化学



書籍名：コピペと言われないレポートの書き方教室

著者名：山口裕之

出版社名：新曜社

出版年：2013年

学生みなさん（特に一年生）が提出したレポートを読むと、「どこかで得た情報のパッチワーク」や、根拠を示さずに「～と思います」という語尾で終わる「単なる感想文」が多いのに驚かされます。でも、大学の先生が求めているのは、ネット検索で調べたことを単に切り貼りしたレポートではなく、「自分の意見を根拠づけて主張」できているレポートです。この本では、調べてきた情報をどのように扱えば、「コピペ」ではなくちゃんとした「引用」になるのか、またどのように書けば「単なる感想文」と言われずに済むのか、レポートを書くときにやってしまいがちなことについて、具体的にどのように修正したらよいか注意点を挙げてくれています。平易な文章で書かれた100ページに満たない本ですので、ぜひ一度手に取って、ページをめくってみてください。



所 属：北海道・長万部キャンパス教養部

氏 名：田村 早苗

専 門：化学



書籍名 : 世界を変えた 150 の科学の本

著者名 : ブライアン・グレッグ著、石黒千秋訳

出版社名 : 創元社

出版年 : 2020 年

君は子供のころに車道と歩道を分ける白線や縁石の上をはみ出さないように歩く遊びをやったことがあるだろうか？ 僕の通っていた小学校でも流行っており、特にクラスメイトの1人がこれに熱心に取り組んでいた。僕は彼と家が近く、小学校からの家路でこの遊びにほとんど強制的に巻き込まれていた。いつどんなきっかけでそれを始めたかを思い出すことはもうできないが、毎日の下校で繰り返されるこの遊びが、僕はいつしか面倒になっていった。途切れたところがあれば飛び越えなくてはならないし、目の前で彼のランドセルがふらふらと煽るように揺れ動くのも大変気に入らない。大体、田舎とはいえ車道と歩道のぎりぎりの境目を歩くなんて危ないではないか。そこで彼になぜ白線の上しか歩いてはいけないのかを聞いてみた。彼は一瞬考えるそぶりを見せてから言った。「だって、マリオだって落ちたら死ぬじゃん」びっくりである。彼には下校の通学路がテレビゲームのステージのように見えていたのだ。こいつは何を言っているんだとは思ったものの、そういう見方を示されるとなんとなくそんな気もしてくる。白線の両側は深い深い谷になっていて、途切れた白線の先にはドロドロに溶けた溶岩が流れている。そんな世界がぼんやり見えるような気がする。それからの僕は少しまじめにこの遊びに取り組むようになったが、ある日、バランスを崩しておやつ駄菓子を道路にぶちまけてから、白線はただの白線に戻った。

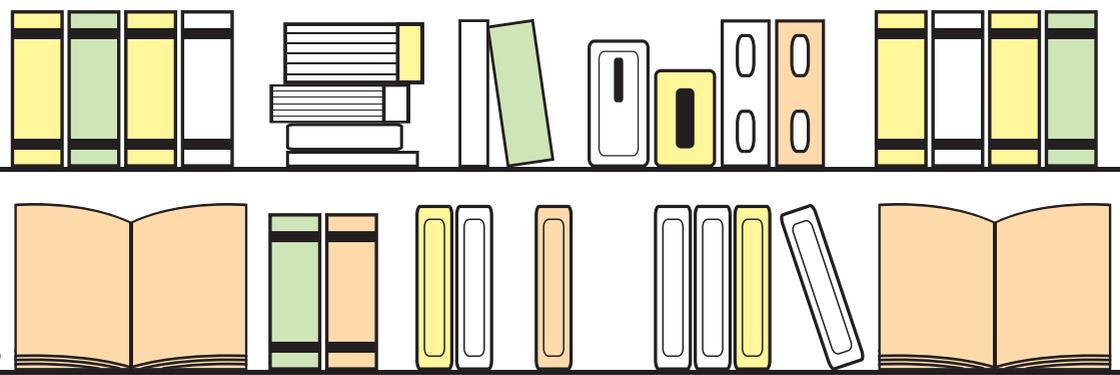
彼が発した一言やぶちまけられた駄菓子のように、あるきっかけで世界の見え方が劇的に変わるということは少なくない。特に科学は、それ自体が世界を見る方法そのものであるために世界の見え方に直結する。もちろん科学が世界のあり方を変えるわけではなく、あるべきことが厳然としてそこにあるだけなのだが、白線の向こうに見えた危機のように見え方が大きく変化する。現代の科学は2500年を超える自然科学の歴史の中で多くの試行錯誤の果てにたどり着いたものがあるが、少なくとも現代の人類にとって世界を見る方法としてとても有効であるとされているし、科学を知ることによって君にとっての世界の見え方が変わることもあるだろう。本書では、そういう世界を見る方法としての科学がどのような提示のされ方をしたのかについて、歴史的なターニングポイントを150に絞ることで試行錯誤の段階を割愛し、なるべく現代の世界観に直結するような形で紹介されている。彼が白線の向こうに見ていたゲームステージのように、人類が科学を通して世界の向こうに何を見ているのかを知っておくことは、科学とその周辺を学ぶ君たちにとって有用な教養となるかもしれない。



所 属 : 北海道・長万部キャンパス教養部

氏 名 : 橋爪 洋一郎

専 門 : 物理学



教養教育研究院

Institute of Arts and Sciences

